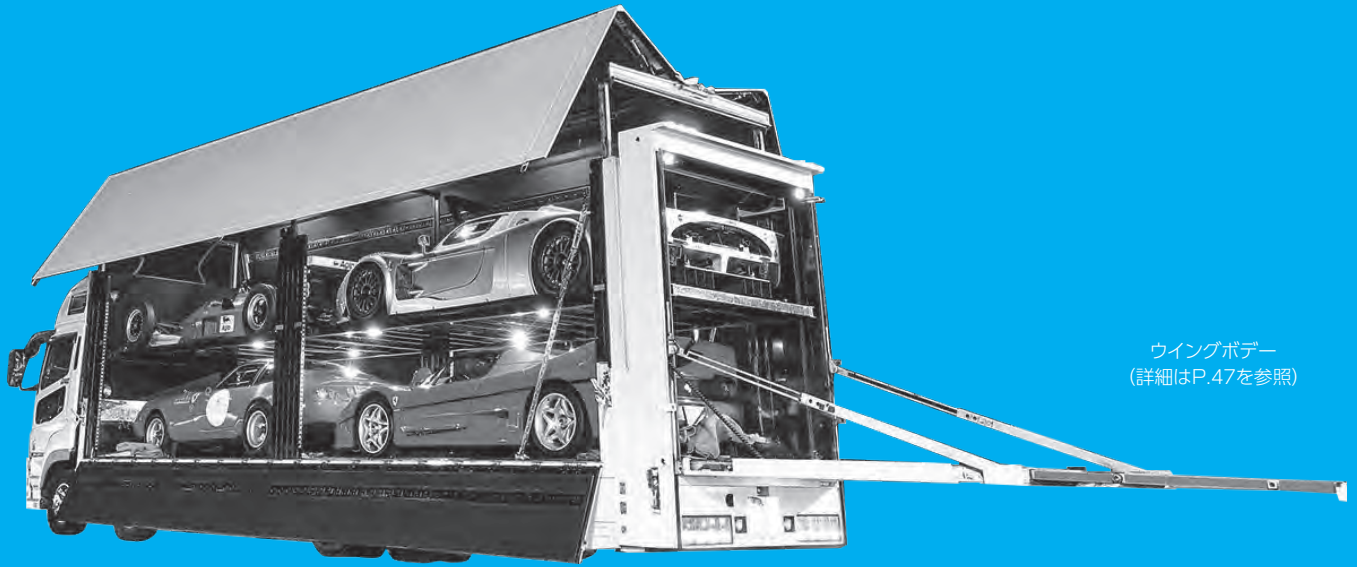


# 車体

# NEWS

## SUMMER 2024 夏

JAPAN AUTO-BODY INDUSTRIES ASSOCIATION INC.

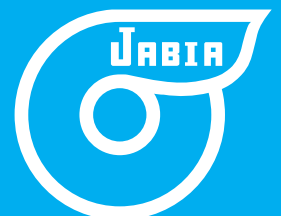


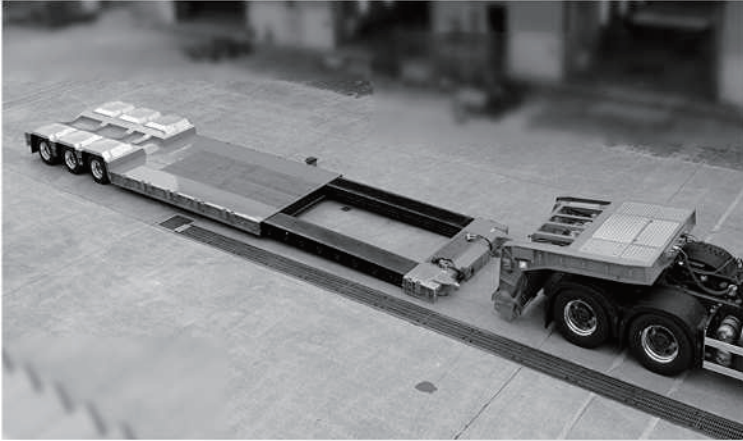
ウイングボデー  
(詳細はP.47を参照)

### CONTENTS

巻頭言	2
NEWS特集	
2024年度通常総会開催	3
2024年度通常総会 表彰者一覧	7
2023年度事業報告・2024年度事業計画	9
講演会を開催	
「街や暮らしを豊かにするモビリティサービス」	11
カーボンニュートラル対応 第12回	13
NEWS FLASH	
本部だより	15
部会だより	15
支部だより	18
官公庁だより	20
月度活動状況	27
会員情報	30
NET WORK vol.115	
ロータスRV販売(株)	31

VOICE STAGE 103	
(株)コラント	33
伸工貿易(株)	34
そこが知りたい 第61回	
「カーシェアリングとは?」	35
働くクルマたち 第45回	
「EV吸引作業車」	37
COFFEE BREAK	39
いどばた会議 第18回	
「私のSDGs Part9」	41
我が社の元気人	43
DATA FLASH	
2023年度 主要車種の生産状況	44
編集後記	47





## デタッチャブルトレーラ

トレーラのグースネックを離脱・連結することにより、建設機械を安全に効率よく積み込むことが可能。

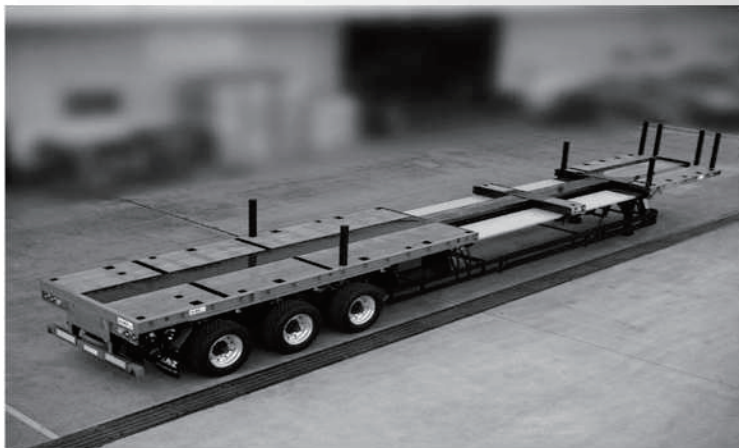
ユーザーニーズに応える

# 特 殊車両の製作



## 荷台伸縮式多軸トレーラ

多軸化することで1軸あたりの軸重を軽くでき、路面への負担の減少が可能。荷台伸縮装置により長大物輸送に対応し、エアサスペンション、ステアリング、昇降式グースネックを採用したことで高い走行性能を誇ります。



## エクステンダブルトレーラ

荷台短縮時はバラ積み積載、荷台延長時は単体物積載となり長尺物の輸送も可能。エアサスペンション、ステアリングにも対応しており、取り回しに優れております。

### **N X 商事株式会社 整備製作部**

<https://www.nx-shoji.com>

#### 東京製作所

〒335-0036 埼玉県戸田市早瀬1-11-25  
TEL.048-449-0100 FAX.048-449-0106

#### 名古屋車体工場

〒482-0026 愛知県岩倉市大地町蕎麦田35-3  
TEL.0587-37-1131 FAX.0587-37-1135

# 巻頭言

## 2024年度通常総会挨拶



会長 増井 敬二

トヨタ車体(株)・取締役会長

車体工業会会長を務めております増井でございます。

本日は2024年度通常総会にあたり、会員の皆様方には会場、Webでの多数のご出席をたまり、誠にありがとうございます。

さて、昨年度を振り返りますと、日本全体に活気が戻り、ようやくコロナ禍から通常の社会生活や経済活動を取り戻すことを実感できた1年であったかと思えます。

当会を取り巻く市場環境も回復の傾向を示し、当会特有の非量産車は14万9千台、前年度比109%と少し明るさが見えてきた1年となりました。

しかしながら、世界情勢が不安定さを増す中、資源価格・物価の高騰に加え、足もとの人手不足や人件費上昇など、依然として取り巻く環境は厳しく、引き続き予断を許さない状況です。

この様な中、当会では2023年度は現地現物、対面での活動が本格的に再開し、会員各社の皆様がそれぞれ持つ課題の共有や意見交換をすることで相互の理解や連携が深まったと考えております。

また、事務局においても主体的にガバナンス強化や各種改善に取り組むことで会の基盤固めが進んだ1年だったと考えております。

2024年度も「働くクルマ」を通じ社会を支える工業会として、引き続き自動車5団体で連携を取りながら、従来活動を着実に推進すると同時に、時代に応じた取組みも推進していく所存です。

主な取組み項目としては、カーボンニュートラル対応や安全対応活動の推進などの6つを考えております。

具体的な計画につきましては、後程ご説明させていただきます。

また、今年の総会では、

見て 聞いて 分かり易い 説明、

会員様同士が、より交流いただけるための時間配分の見直しなど、運営面での改善を試みました。有意義で、参加して良かったと感じていただけたら幸いです。

最後になりますが、今後も会員の皆様にとって「入ってよかった」と思ってもらえる車体工業会を目指し、会員の皆様に寄り添いながら活動を更に充実させていく所存です。

引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございます。





# 2024年度 通常総会開催

NEWS  
特集

車体工業会の2024年度通常総会は、5月24日15時30分から、グランドプリンスホテル高輪「プリンスルーム」とWeb会議のハイブリッド方式で開催された。

総会の概要は次のとおり。

## ◆会議出席者数

正会員 会場出席78社 Web出席25社  
委任状による出席109社 計212社

## 1. 開会の辞

初めに増井会長が挨拶。続いて事務局より委任状を含めた出席者数が212社で、本総会が適法に成立する旨、報告された。

## 2. 議事

- 第1号議案 2023年度事業報告の件
- 第2号議案 2023年度決算報告の件
- 第3号議案 2024年度事業計画案の件
- 第4号議案 2024年度収支予算案の件
- 第5号議案 2024年度理事選任の件

以上の議案について事務局が説明し、審議の結果すべての議案が承認された。

総会終了後、新任理事5名の紹介、退任役員に対する感謝状の贈呈、工業会功労者、永年在籍会員、優良従業員に対する表彰が行われた。

また、来賓を代表して、経済産業省製造産業局自動車課清水課長、国土交通省物流・自動車局審査・リコール課小磯課長から祝辞を頂戴した。

引き続き約220名が参加し、懇親会を行い、17時45分過ぎ、盛会のうちに幕を閉じた。



増井会長

## 新任理事



特装部会 副部会長  
大久保 淳  
カヤバ(株)  
常務執行役員  
特装車両事業部事業部長



トレーラ部会 副部会長  
富田 政行  
東邦車輛(株)  
代表取締役社長



バス部会 部会長  
藤岡 佳一郎  
三菱ふそうバス製造(株)  
代表取締役社長



新潟支部 支部長  
丸山 正範  
(株)丸山車体製作所  
代表取締役社長



関東支部 支部長  
星 浩由  
(株)ヤシカ車体  
代表取締役



# 来賓挨拶



経済産業省  
製造産業局 自動車課長  
清水 淳太郎 氏

## 1. はじめに

経済産業省自動車課長の清水でございます。

本日は、日本自動車車体工業会の通常総会が無事執り行われましたことに、心よりお慶び申し上げます。

また、本日、御退任をされた役員の皆様のこれまでの御尽力に感謝申し上げますとともに、功労者・永年在籍会員・優良従業員表彰を受賞された皆様に、お祝いを申し上げます。

## 2. 日本経済について

日本経済は、この数年の産業政策や産業界の皆様の方の成果もあり、長年続いたデフレ構造から新しい経済ステージへの移行が足元での大きな流れとなっています。3月には、日経平均株価は史上最高値を更新し、2年連続で企業の賃上げの動きは加速しており、今年の春季労使交渉の第5回集計では、5%を超える5.17%の賃上げの数字が示されました。さらに、30年ぶりとなる100兆円規模の民間企業設備投資が実現しました。

ただ、この状況を構造的な形でどういう風につなげていくかということ、皆様方をお願いさせていただいております各社における賃上げやその原資となる取引適正化ということ、しっかりと国としてもサポートしつつ、皆様方の取組をもう一段見直していただき、サプライチェーン全体で強くなっていくべく、一緒に取り組んでいきたいと思っております。

それに伴う形で、新しい経済に向けた取組を確実なものとしていくため、特にGX、DXは、日本経済全体の大きな投資の柱だと考えております。

## 3. 自動車産業について

自動車産業に目を向けると、足下では、電動化やデジタル化など、自動車をめぐる変化のスピードは更に加速度を増しています。

このような中で、自動車産業のカーボンニュートラルの実現に向けて、政府としては、電動化に加え、水素、合成燃料などを含む「多様な選択肢」を追求しています。

その中で皆様方が主に携わっておられる商用車の世界に関連するところとしては、航続距離や積載重量というところ

を含めると、水素の活用が大きな可能性の一つであると認識しています。水素の利活用については、昨年6月の水素基本戦略の改定し、今年の通常国会にて水素社会推進法案が成立いたしました。これは2030年以降に向けて、グリーン水素を活用しながら、新しい水素社会を作っていくことであり、コンビナートや発電に加え、自動車分野でもしっかりと水素の活用の道を広げていくべく、法律も活用しながら動かしていきたいと思っています。

もう一つの大きな柱としてデジタル化がございます。5月20日(月)に「モビリティDX戦略」を打ち出しました。自動走行やデータ活用など、個別の分野でいろいろな取組みをしてきましたが、自動車のデジタル化を正面から捉えた戦略としては初めてのものです。

SDV、ソフトウェア・ディファインド・ビークルをはじめ、自動車自体のデジタル化がどんどん進んでいく中で、この分野で日本がどのように勝っていくのか、総合的に取組みをしっかりと進めていきたいと思っています。

商用車の世界でも、まさに走行データ等をどのように活用していくか、車体のデザイン設計にどのようにデジタル技術を活用していくかなど、デジタル化という大きな波が色々な形で押し寄せてくるのではないかと考えています。

そういう意味で、GX・DXの両面が、競争が激化する中で、リスクというよりも、むしろ大きなビジネスチャンスと捉えていただき、業界全体で取組みを進めていただければと思います。

## 4. 業界団体の取組みについて

貴工業会を含む自動車5団体においては、各団体が連携して2050年カーボンニュートラル達成に向けた推進ロードマップを策定され、GXという問題を正面から捉え、団体として力強く推進していただいていると聞いております。

やる事が凄く増えている時代の中で、団体としての取組みの中で、色々なツールや情報を提供しながら、協調領域ではしっかりと協調し、強みがあるところではしっかりと競争していくということが、ますます重要になってくると思っております。日本自動車車体工業会としての取組みを非常に期待しております。

## 5. 終わりに

最後になりますが、日本自動車車体工業会及び会員各社の皆様方の益々の御発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。





## 来賓挨拶



国土交通省  
物流・自動車局審査・リコール課 課長  
小磯 和子氏

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課長の小磯でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、「日本自動車車体工業会」総会が盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

貴工業会の会員の皆様には、平素より国土交通行政に多大なるご理解とご協力をいただいております、この場を借りて御礼申し上げます。

昨今の自動車業界を取り巻く大きな流れとして、カーボンニュートラルの実現、車両の自動化の推進への取組みが本格的に動き出しており、そのような状況においても、貴工業会の皆様におかれましては、社会の要請に対応しつつ、安全・環境問題への対応など、様々なチャレンジを続けておられますことに敬意を表します。

国土交通省といたしましても、車体産業の健全な発展に向けて、皆様と連携して取り組んでいければと思います。

折角の機会でございますので、皆様と関係の深い国土交通省の施策について、いくつかご紹介したいと思います。まず、環境対策です。

我が国においては、2050年カーボンニュートラルの実現などの目標を掲げており、国土交通省においても、商用車の電動化の促進等、各種施策に取り組んでいるところでございます。

貴工業会の皆様におかれましても、会員向けの理解促進活動や各工場等でのCO<sub>2</sub>削減を積極的に進めておられることに感謝申し上げますとともに、引き続き、その取組みを進めていただけることを期待しております。

二点目は、車両の安全対策についてです。

国土交通省では、交通事故死者数の更なる削減に向けて自動運転技術や運転支援技術の有効活用等の対策を推進しています。

これらの技術に関する基準策定の議論がますます重要になっていると思います。貴工業会からは、これまでも特に国内基準への導入に向けた議論にご協力いただいておりますが、国際基準策定段階からのより一層のご協力を引き続きお願いできればと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

最後は、コンプライアンスの問題です。

一昨年来、一部の自動車メーカー等において、不正事案が発覚しています。ものづくり企業にとりまして、品質の向上、安全・安心の確保は最も重視すべきことであり、不正事案があれば、その会社が損害を受けるだけでなく、車両の使用者であるお客様に多大な迷惑がかかります。

各社におかれましては、引き続き、コンプライアンスの徹底をお願いいたします。

一方で、国土交通省としては安全確保を前提としつつも、DXの活用等、技術の進化等に柔軟に対応して行きたいと考えておりますので、もし、現行の規制やルールが各種申請や製品の品質管理の効率化の妨げになっているようなことがあれば、遠慮なくご相談ください。

結びに、貴工業会並びに会員各社の益々のご発展と、本日はご列席の皆様方のご健勝・ご繁栄を心より祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。



# 2024年度 理事・監事

自 2024年5月24日  
至 2025年5月 通常総会開催日

	氏名	会社名	会社役職	車体工業会役職	
理事	本部役員	増井 敬二	トヨタ車体(株)	代表取締役会長	会長
		吉村 東彦	日産車体(株)	代表取締役社長	副会長
		布原 達也	極東開発工業(株)	代表取締役社長	副会長
		矢野 彰一	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長	副会長 (バン部会理事・九州支部長兼務)
	特装部会	小田 浩一郎	新明和工業(株)	常務執行役員 経営企画本部長	部会長
		木津 輝幸	極東開発工業(株)	取締役常務執行役員 特装車事業部長	副部会長
		* 大久保 淳	カヤバ(株)	常務執行役員 特装車両事業部事業部長	副部会長
	特種部会	森 孝義	中京車体工業(株)	代表取締役社長	部会長
		内海 嘉則	(株)オートワークス京都	代表取締役社長	副部会長
		西岡 偉久	東京特殊車体(株)	代表取締役社長	副部会長
	トラック部会	山田 和典	山田車体工業(株)	代表取締役社長	部会長
		中条 充啓	(株)東洋ボデー	代表取締役社長	副部会長
		近藤 匠	名古屋ボデー(株)	代表取締役社長	副部会長
	バン部会	田中 俊和	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長	部会長
		秋山 健	(株)パプコ	代表取締役社長	副部会長
		(矢野 彰一)	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長	副部会長
	トレーラ部会	高崎 文弘	日本トレクス(株)	代表取締役社長	部会長
		* 富田 政行	東邦車輛(株)	代表取締役社長	副部会長
		能條 幹也	(株)花見台自動車	代表取締役社長	副部会長
	バス部会	* ○ 藤岡 佳一郎	三菱ふそうバス製造(株)	代表取締役社長	部会長
	小型部会	濱口 昌史	トヨタ自動車東日本(株)	取締役	部会長
	資材部会	小澤 賢記	ゴールドキング(株)	取締役社長	部会長
		久保 航一	(株)昭和	取締役会長	副部会長
	支部	上野 聡	北海道車体(株)	生産開発本部 上席本部長	北海道支部長
		鈴木 勇人	仙台鈴木自動車工業(株)	代表取締役	東北支部長
		* ○ 丸山 正範	(株)丸山車体製作所	代表取締役社長	新潟支部長
		* ○ 星 浩由	(株)ヤシカ車体	代表取締役	関東支部長
		景井 啓之	(株)東海特装車	取締役社長	中部支部長
		須河 進一	須河車体(株)	代表取締役社長	近畿支部長
		瀬川 昌也	共立工業(株)	代表取締役	中国支部長
		藤田 健一郎	フジタ自動車工業(株)	代表取締役社長	四国支部長
(矢野 彰一)		(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長	九州支部長	
事務局	板倉 範頭	日本自動車車体工業会	—	専務理事・事務局長	
計31名(定数 25名以上 40名以内)					
監事	—	森 茂	(株)トランテックス	代表取締役社長	—
		宮幸 朗	自動車精工(株)	取締役会長	—
		田村 元	(株)浜名ワークス	代表取締役社長	—
	計3名(定数 1名以上 3名以内)				

\*印：2024年5月通常総会での新任理事・監事 ○印：車体工業会役職変更 (氏名)：兼任を示す  
(注)会社役職は2024年5月24日現在による。

# 2024年度通常総会 表彰者一覧

敬称略

## 1. 退任理事・監事感謝状贈呈(4名)

本部・部会・支部順 役職は2024年5月24日時点

トレーラ部会副部会長	辻 和弘	東邦車輛(株)	取締役
バス部会長	石川 哲朗	ジェイ・バス(株)	代表取締役社長
新潟支部長	北村 守	(有)中北車体工作所	代表社員
関東支部長	矢島 廣一	埼玉自動車工業(株)	会長

## 2. 車体工業会功労者表彰(8名)

### 特別功労賞

本部	岡本 斉	中央技術委員会／ 車両直後確認装置検討WG	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
	松本 典浩	中央技術委員会／ CS/SU&コネクテッドWG	極東開発工業(株)	技術本部開発部担当部長

### 功労賞

本部	安部 慎二	中央技術委員会／ テールゲートリフト技術分科会	極東開発工業(株)	パワーゲートセンター設計課課長
	速水 健一	中央技術委員会／ CS/SU&コネクテッドWG	新明和工業(株)	特装車事業部開発部 電気グループ長
	根岸 邦博	中央技術委員会／ 車両直後確認装置検討WG	メルコモビリティ ソリューションズ(株)	アフターマーケットサービス事業本部 アフターマーケット事業部 東日本営業部長
部会	常盤 博之	特種部会	東京特殊車体(株)	営業部企画担当次長
	武澤 真幸	特種部会	(株)野口自動車	設計部部長
	吉田 博明	バス部会	ジェイ・バス(株)	調達部シニアスタッフ

## 3. 車体工業会永年在籍会員表彰(17社)

正・準会員、年数、社名五十音順

正会員 13社	70年	3社	飛鳥車体(株)、新明和工業(株)、本所自動車工業(株)
	60年	4社	昭和飛行機工業(株)、名古屋ボデー(株)、日本フルハーフ(株)、(株)丸山車体製作所
	50年	3社	北関東自動車工業(株)、坪井特殊車体(株)、渡辺興業(株)
	20年	1社	ヤナセテック(株)
	10年	2社	エイシン車体工業(株)、(有)柳沼ボデー工場
準会員 4社	50年	1社	日本シール(株)
	30年	2社	(株)コマツコーポレーション、(株)東洋クオリティワン
	20年	1社	(株)テンソー

## 4. 優良従業員表彰(3名)

正・準会員、社名五十音順 役職は2024年5月24日時点

黒澤貴代士	(株)メイダイ	車輛div製造室 組長
村上 敦	(株)パトライト	グローバルマーケティング本部DX戦略推進部ウェビナー推進課
宮本 和男	(株)ハナイ	技術部顧問



## 退任理事・監事



トレーラ部会  
副部会長  
**辻 和弘**  
東邦車輛(株)  
取締役



バス部会長  
**石川 哲朗**  
ジェイ・バス(株)  
代表取締役社長



新潟支部長  
**北村 守**  
(資)中北車体工作所  
代表社員



関東支部長  
**矢島 廣一**  
埼玉自動車工業(株)  
会長



左から：辻 和弘氏 増井会長 石川 哲朗氏

## 功労者表彰



後列左から：極東開発工業(株) 安部 慎二氏、東京特殊車体(株) 常盤 博之氏、(株)野口自動車 武澤 真幸氏、ジェイ・バス(株) 吉田 博明氏、  
前列左から：新明和工業(株) 岡本 斉氏、極東開発工業(株) 松本 典浩氏、  
増井会長、新明和工業(株) 速水 健一氏、メルコムビリティソリューションズ(株) 根岸 邦博氏

## 優良従業員表彰



左から：(株)パトライト 村上 敦氏、増井会長、(株)ハナイ 宮本 和男氏

## 永年在籍会員



後列左から：北関東自動車工業(株)、坪井特殊車体(株)、ヤナセテック(株)、日本シール(株)、(株)東洋クオリティワン、(株)テンソー  
前列左から：飛鳥車体(株)、新明和工業(株)、本所自動車工業(株)、増井会長、昭和飛行機工業(株)、名古屋ボデー(株)、日本フルハーフ(株)

# 2023年度事業報告・2024年度事業計画

## 1. 取り巻く環境

### 経済状況

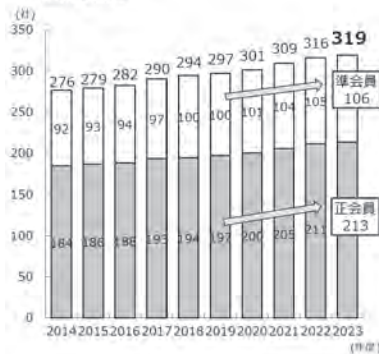
世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍終息の一方でロシアのウクライナ侵攻継続、中東紛争</li> <li>・IMF世界経済見通し：2024年<b>3.2%</b>(2000～19年平均3.8%)</li> <li>・<b>不安定な国際情勢</b>による商品価格高騰等下振れリスクあり</li> </ul>
日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去最高の<b>賃上げ</b>や国内投資等<b>成長型経済</b>への転換局面</li> <li>・コロナ禍時の過剰貯蓄取崩しや雇用環境改善により<b>内需拡大</b></li> <li>・<b>物価高</b>による節約志向や人手不足による<b>供給制約</b>等下振れリスクあり</li> </ul>

### 日本商用車市場

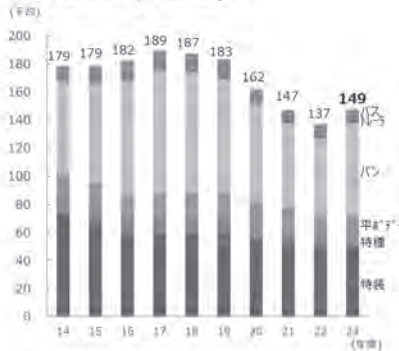
世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍終息の一方でロシアのウクライナ侵攻継続、中東紛争</li> <li>・IMF世界経済見通し：2024年<b>3.2%</b>(2000～19年平均3.8%)</li> <li>・<b>不安定な国際情勢</b>による商品価格高騰等下振れリスクあり</li> </ul>
日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去最高の<b>賃上げ</b>や国内投資等<b>成長型経済</b>への転換局面</li> <li>・コロナ禍時の過剰貯蓄取崩しや雇用環境改善により<b>内需拡大</b></li> <li>・<b>物価高</b>による節約志向や人手不足による<b>供給制約</b>等下振れリスクあり</li> </ul>

### 会員の状況

<会員数>



<生産台数(非量産)>



## 2. 車体工業会の取組み



### 組織別対応一覧

	本部委員会					部会・支部	事務局
	CN専門	中央技術	環境	中央業務等	広報		
①カーボンニュートラル(CN)	◎	○	◎	○	○	○	○
②安全への取組み		◎		○		○	○
③環境への取組み			◎			○	○
④中小企業支援活動				◎		○	○
⑤活性化活動				◎	◎	◎	○
⑥ガバナンス強化・業務効率化	○	○	○	○	○	○	◎

## 3. 2023年度実績・2024年度取組み

### ①CN

23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部委員会主導に移行、各委員会の活動内容をCN専門委で確認</li> <li>・勉強会：実践編7回、入門動画公開</li> </ul>	
24年度新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CN活動への理解促進のための仕掛けを先導</li> <li>1)困りごと・未着手会員への対応：中央業務委員会</li> <li>2)環境委員会WG活動 ⇒ 部会(支部)との一体活動</li> </ul>	

### ②安全への取組み




23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法規対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)後退時車両直後確認装置 (R158)</li> <li>2)車両後退通報装置 (R165)</li> <li>3)大型車事故情報計測・記録装置 (R169HDV-EDR)</li> <li>4)CS/SUコネクテッド検討WG</li> </ul> </li> <li>・調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)新JABIAリハット制度運用</li> <li>2)再帰反射材グレア研究(資材)</li> </ul> </li> <li>・先進技術 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)商用車電動化：高電圧法令対応会員展開済</li> </ul> </li> </ul>
24年度新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声アラームに関する調査研究(中央)</li> </ul>





### ③環境への取組み

23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境ラベル取得訪問支援</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量調査</li> <li>CNのWG活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>1)分析WG</li> <li>2)支援WG</li> <li>3)事例WG</li> <li>4)LCA WG</li> </ul> </li> <li>産業廃棄物最終処分量調査</li> </ul>	 <p>=支援WG訪問@鶴見の「新テ」=</p>
24年度新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境ラベルJABIA規格改定</li> <li>環境対応事例発表会（隔年）</li> <li>産廃新規会員へのフォロー</li> </ul>	



### ④中小企業支援活動

23年度実績	中央業務委員会	外国人技能実習制度改正：自工会・部工会共同で検討中	
	中小会社ネットワーク強化WG	訪問ヒアリング：工場見学＋採用情報交換等 営業マン勉強会：「2024年問題」のチーム討議	 <p>=客室の工場見学会@札幌「新テ」工場側=</p>
	安全衛生 技能系社員研修	災害事例の展開 3回開催	 <p>=技能系社員研修@トヨタ車体高所からの落下が体験訓練=</p>
24年度新規		CN 困りごと、及び未着手会員対応	

### ⑤活性化活動 広報委員会

23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP閲覧停止対応、保守管理強化</li> <li>カーボンニュートラルへの取組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>1)委員会メンバー会社事例のHP展開</li> <li>2)HPの閲覧頻度向上施策検討</li> </ul> </li> </ul>	 <p>=車工会HP CNページ=</p>
24年度新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌「車体NEWS」の見直し               <ul style="list-style-type: none"> <li>-配布部数(CN観点)</li> <li>-デジタル化</li> </ul> </li> </ul>	 <p>=車体NEWS 2024年春号=</p>


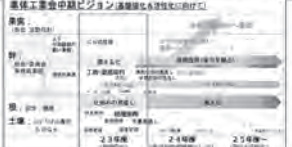
### ⑤活性化活動 部会活動

23年度実績	部会共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有               <ul style="list-style-type: none"> <li>-総会、役員会、委員会、工場見学会等</li> <li>-リコール情報</li> </ul> </li> <li>法規対応、規格化・共通化</li> <li>アフターセールス情報展開</li> </ul>	 <p>=特種部会工場見学会@フジ自動車工業=</p>
	他団体連携の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車技術総合機構との検討会(特種)</li> <li>トラック協会でのトレーラ講習会(トラウ)</li> </ul>	 <p>=トレーラ講習会@宮城県トヨタ自動車=</p>
24年度新規	部会共通	CN 取組み（本部委員会と一体活動）	

### ⑤活性化活動 支部活動

23年度実績	支部共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有               <ul style="list-style-type: none"> <li>-総会、役員会、工場見学会、研修会</li> </ul> </li> <li>安全への取組み - 不正改造排除運動</li> </ul>	 <p>=近畿支部研修会@日本丸(1)@=</p>
	特徴的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>CN勉強会（中部、近畿、新潟、九州）</li> <li>支部間交流会（中部&amp;中国）</li> </ul>	 <p>=中部支部CN勉強会@岐阜車体工業=</p>
24年度新規	支部共通	CN勉強会（本部委員会と一体活動）	

### ⑥ガバナンス強化・効率化

23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>狙い&amp;ビジョンを定義</li> <li>基盤固めを中心に活動</li> <li>キーワード：           <ul style="list-style-type: none"> <li>見える化、目的の明確化</li> <li>意識(風土)と仕組み、デジタル技術</li> </ul> </li> </ul>	 <p>車体工業 業務・風土改革の図</p>
24年度新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会・支部を含めたガバナンス体制の構築</li> <li>業務改革による余力の創出、高付加価値業務へシフト</li> </ul>	 <p>車体工業 中期ビジョン 価値最大化を実現するためのロードマップ</p>

### ジャパンモビリティショー

10月26日～11月5日(11日間)@東京ビッグサイト  
 会員展示 10社  
 集客イベントJABIAサーキット



会員展示 10社 @ 車外展示場  
 ハット広場  
 動画

講演会を開催

# 街や暮らしを豊かにする モビリティサービス

2024年4月26日、資材部会では総会后、東京會館丸の内本館において、WILLER株式会社の村瀬社長を招き、講演会をWeb併用で開催した。

高速バス「WILLER EXPRESS」で有名な、WILLER(株)は今年創業30年を迎え、日本国内のみならず、ASEANを中心に、海外でも様々な新しいモビリティサービスを提供している。

データの収集と分析に基づいて、すべての人が自由に移動ができる(FOR ACCESS ALL)をミッションとし、インフラの構築(路線バス、地下鉄)の上に、イノベーション(移動の目的)が発生し、人々の行動変容を促し移動総量を増やすことで、地域経済を活性化させ、持続可能な社会の構築に取り組んでいる。

## マーケティングから交通を考える

### 都市間バス3,000万人市場の創造

20年前、若い人は都市間高速バスを使っていなかった。「こわい」「遠足のバス」「ビジネス利用」で使うものと捉え、自分たちが使う乗り物という認識はなかった。

当時、東京に海外からのファストファッションショップが多く開店し、大阪から東京に行きたくとも、往復の新幹線代約3万円は若い人には大きな出費となっていた。

#### 高速バスを若い女性が乗りたがる乗り物にする

- ・ 往復1万円を切る夜行バスを設定
- ・ 女性の隣は必ず女性にする予約システム
- ・ お助けダイレクトメール。車内が暑い、トイレに寄ってほしい等のリクエストに10分以内に対応
- ・ 顔を完全に隠せるカノピー付きシート
- ・ バスを使うイメージをSNSで発信 等

これらの新しい価値の提供によって、業界全体で8,500万人だったバス利用者を、5年後には1億1,500万人に増やすことに成功。若い層3000万人の市場を創造した。好奇心旺盛な若い世代のニーズをつかんだ。

現在、WILLER社だけで1日300便を運行し、乗車率、単価は上昇しているが、乗務員不足で、提供便数を増やせず、需要はあるが利用者数を増やせない状況である。

NEWS特集 講演会

NEWS  
特集



WILLER株式会社  
代表取締役  
村瀬 茂高氏

WILLER GROUP

ウィラーグループ

#### Mission

To All Places,  
For All People,  
by All Ways,  
with All Organizations & Technology.  
**FOR ACCESS ALL**

#### MaaS Pyramid



#### 利便性

世界中の移動者のために「快適」かつ「感動的」な移動の基盤を創造します。

#### 革新性

最先端の技術を活用し顧客の本質的な課題を解決する新しい価値を創造します。

#### 社会性

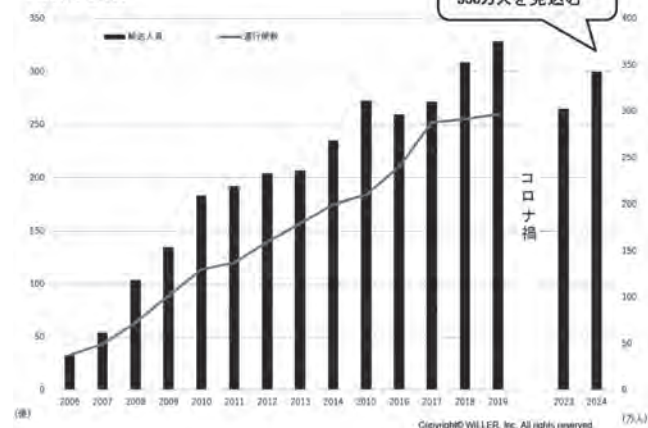
社会インフラを提供することでより多くの人に新たな体験価値を届け世の中を豊かにしています。

#### 安全性

顧客に安心していただくための前提として全社で厳守します。

Copyright© WILLER, Inc. All rights reserved.

#### ●利用者数



### お客様と一緒にサービスを作る

なかったものを作る。→潜在意識をどうつかむか。

旅行予約サイト「WILLER TRAVEL」の登録会員数は約750万人、そのうち年間アクティブ利用者数は460万人にのぼる。

利用者のアンケートを分析して、日々サービスを改善している。さらに、アンケートでは得にくい潜在的ニーズをユーザー座談会を定期的にかけてヒアリングしている。

発掘したアイデアは実現可能か、サービスにつながるかすぐに分析、簡単な事案はすぐに実現していく。

- ・ 快適な3列シートで新幹線の始発よりも早く着く夜行
- ・ 利用者属性によって出発時間を変更する 等



## さらなるアイデアとサービスでバスを活用

- ・ 地域特産物を食べながら、観光できるレストランバスを全国累計21都市での運行
- ・ コンサート会場直前の「推し活」バス
- ・ 荷物と旅客を輸送する「貨客混載」
- ・ 乗客の荷物を預かり、ホテルまで届ける「手ぶら旅」 等

## 自動運転の取組み

### 佐渡市での実証実験

人口減少が激しく、公共交通の維持が難しい佐渡島の佐渡市で、ワークショップを開催。地域で様々なサービスをおこなっている方々を集め、移動ニーズ、求められるサービスを探ることから始めた。

5年後、10年後のサービスを考える上で、地域の方々の協力は不可欠となる。



自動運転で何ができ

るかを幅広く論議し、佐渡市では下記の分野にニーズがあることが分かる。

#### ①くらしの足 ②社会福祉 ③教育 ④観光 ⑤物流

→ 分野の垣根を越え、移動ニーズと車両提供を組み合わせるプラットフォームとして活用。

#### 多様な役割を担うことで運行予算を確保する。

これらの各サービスを同時運行する自動運転の実証実験を行った(貨客混載で海沿いの片道36kmの道路を最高時速35km/hで有人自動運転)。現在、2025年のサービス開始を目指している。

## 地域交通のリ・デザイン

### AIオンデマンドシステム「mobi」

定時定路線の路線バスは1970年頃をピークに利用者が減少。小人数の移動ニーズに対応することが困難となっている。路線バスだけでは好きなところに行くことができない。公共交通で自由に移動できるサービスが必要。

直径4~8kmのサービス提供エリア内に100を超える仮想乗降場所を設置し、アプリで呼び出して乗降する相乗りサービス「mobi」を全国累計 26都市での運行。

定額制(池袋の例：直径4km、5,000円/月で乗り放題)

#### ①移動機会の増加 ②移動目的の増加 ③移動総量の増加

→ 外出頻度が拡大し、地域経済の活性化に貢献

シニア世代だけでなく、都市部では大学生、地方の市街では高校生が多く利用する。どの地域でも子育て世代の利

用が多く、近所の助け合い交通として活躍している。それぞれの街に合わせたサービス作りが重要となっている。

相乗り時は、最適ルートをAIがその都度設定するため、待ち時間、乗車時間も効率化されている。利用者の移動データは常に分析され、乗降場所の配置を最適化していく。



### 「mobi」は海外でも好評

オンデマンド交通事業の法的整備が、進んでいるマレーシアにおいて、事業ライセンスを初めて取得した。行政からの運行委託による収益で事業として成立している。

マレーシアでは日本より早期に事業開始が可能のため、海外で導入事例を作って、データを日本国内へフィードバックする。

また、ベトナムやグアムの観光地では旅行会社と共同で、主要観光地とホテルを結ぶ相乗り交通サービスを展開している。

旅行者に向けた、安心・安全な移動サービスとして、世界の観光地でビジネスとして成立する可能性を秘めている。



# カーボンニュートラル対応 第12回

カーボンニュートラル(以下CN)については、2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、CNを目指すことを宣言したことを受け、当会では、CN専門委員会を立ち上げ、2021年8月27日より活動を開始した。会員の皆様からいただいたアンケートの結果に基づき、CNを正しく理解していただくための勉強会の開催、パンフレットの送付(その1~4)、そして車体NEWSでは2021秋号から取組みを紹介している。

第12回目は、継続して実施している勉強会の実施状況、環境委員会の取組み、CN専用ホームページ、2024年度CO<sub>2</sub>排出量調査について紹介する。

## 2024年度車体工業会の取組み

### 1. 委員会活動環境委員会WG活動による会員支援

#### ①環境委員会WG活動による会員支援

環境委員会では4つのWGを立ち上げ、会員のCN活動のサポートとなる情報を発信していきます。

項目	実施事項
事例WG	わかりやすいCN対応事例の展開 「儲かる・すぐできる・誰でもできる」事例を集め展開予定
分析・解析WG	CO <sub>2</sub> 排出量の算出方法のサポート 集計結果の分析 (削減項目、削減量把握と会員への削減アイテム情報発信 等)
LCAWG	自工会LCA分科会との連携 LCA評価ツールの検討
支援WG	現地現物による工場訪問支援、意見交換

#### ②中央業務委員会

CNアンケート結果から、会員の皆様の困り事を収集し、解決に向けたサポートを実施します。

#### ③広報委員会

CN専用HP掲載データのアップデート  
わかりやすい・検索しやすいCNホームページに  
向けた改善

### 2. 部会・支部活動による会員支援

#### ①部会

各部会毎(特装・特種・トラック・バン)に、  
会員支援策を検討・実行  
例)

特装部会:部会内CN WGを立ち上げ、会員支援策  
を検討

特種部会・トラック部会:各社の取組みを部会で共有  
バン部会:業務委員会が中心となり、会員支援策を  
検討

#### ②支部

工場見学会を兼ねたCN勉強会の開催

## 2024年度CO<sub>2</sub>排出量調査へのご協力依頼

車体工業会では地球温暖化対策につき、2008年度から日本自動車工業会と一体となった取組みを推進し、経団連の「カーボンニュートラル(CN)行動計画」に基づくCO<sub>2</sub>排出量調査を実施しております。

2050年のCN達成に向け、脱炭素化の流れが本格化する中で、当会も2030年に向けたCO<sub>2</sub>排出量の目標値を掲げ、会員の皆様の排出量、省エネ量等の実態把握を行い、エネルギー削減に繋がる活動を進めて参ります。

以下項目の2023年度実績について、ご提出をお願いしておりますので、回答へのご協力をお願いいたします。

#### <調査項目>

- ① 2023年度実績 CO<sub>2</sub>調査
- ② 省エネ・CO<sub>2</sub>削減 改善事例

## CN専用ホームページ



CN専用ホームページ トップページ

<https://www.jabia.or.jp/cn/>



迅速に、そして分かり易くCNに向けた会員の皆様の活動状況や官公庁、他団体の有益な情報を共有し、諸活動にお役立ていただくために、「CN専用ホームページ」を開設し、2022年12月22日にリリース。

### <新着情報>

カーボンニュートラルの基礎知識

①2023年度CO<sub>2</sub>排出量調査結果

<https://www.jabia.or.jp/cn/co2/#co201>



②官公庁情報

<https://www.jabia.or.jp/cn/public/>



・補助金

【設備導入支援情報(東京都)】

中小規模事業所向け廃熱有効利用設備導入支援事業のご案内(JEHC)

・基礎知識

J-クレジット制度

世界の脱炭素・カーボンニュートラル動向

経団連カーボンニュートラル行動計画

・電動化

自動車の“脱炭素化”のいま(前編・後編)

・グリーンエネルギー情報

2050年カーボンニュートラルを見据えた次世代エネルギー需給構造検討小委員会(総合資源エネルギー調査会)

### 車工会会員の皆様へ

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、掲載要望やお気づきの点がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。お問い合わせはこちら <https://www.jabia.or.jp/cn/contact/>





### ■評議員会及び相談役会を開催

2024年度評議員会は、当会会議室とWeb併用で5月9日に開催した。星雅也氏(株)シンセイ社長)を議長に選任し、2024年度事業計画(案)、収支予算(案)及び新任理事(案)を審議した。

工業会の活動指針の実現に向け「ガバナンス」と「会の活性化」を基盤に「従来活動の着実な推進と時代に応じた新たな取組みを進める」という考え方を基にした『2024年度事業計画(案)、収支予算(案)及び新任理事(案)は適切である』との答申を評議員会として増井会長に提出いただいた。

今回は事務局で進めている「業務や風土の改善」についての意見交換も行った。限られた時間ではあったが、増井会長とのコミュニケーションの場として、今後も充実を図っていく。

また、同日相談役会を当会会議室で開催し、木村、古庄各相談役から「2023年度事業報告及び収支決算報告」、「2024年度事業計画(案)及び収支予算(案)」、「当工業会のガバナンス強化」について意見をいただいた。

### ■架装工事ガイドライン(サイバーセキュリティ—法規対応)制定

中央技術委員会CSSU&コネクテッドWG(座長・松本典浩・極東開発工業(株)技術本部開発部担当部長)では、サイバーセキュリティ(UN-R155)法規対応のため、自工会大型車部会と連携して架装工事ガイドラインを策定し、4月25日に、ガイドライン説明会を開催した。53社117名が参加し、法規対応への理解を深めた。

詳しくは、当会ホームページを参照。

<https://www.jabia.or.jp/safety/system/#section04>



### ■2024年度部会総会を実施

部会	部会長	開催日	場所
特装部会	小田部会長	4月23日(火)	東京
特種部会	森部会長	4月19日(金)	東京
トラック部会	山田部会長	4月23日(火)	徳島
バン部会	田中部会長	4月16日(火)	東京
トレーラ部会	高崎部会長	4月26日(金)	当会会議室+Web併用
バス部会	石川部会長	4月3日(水)	神奈川
小型部会	濱口部会長	4月18日(木)	当会会議室+Web併用
資材部会	小澤部会長	4月26日(金)	東京+Web併用

## 特装部会

### ■清掃車小委員会「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置のご案内」を作成

—お客様各位— <お車を安全にお使いいただくために>

### 「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置」のご案内

<ハッチ付レシーバータンク搭載吸引清掃車における事故・対策について>

吸引清掃車のレシーバータンクは吸引物を排出する際に、油圧装置によりハッチが開閉できる構造となっています。取扱説明書には、油圧装置を使用する作業時は周囲の安全を確認する様に記載しておりますが、ハッチを開閉する時に人が挟まれて死亡する等の重大な労働災害事故が発生しています。

挟まれ事故防止のため、日本自動車工業会（JABIA）では2017年頃から「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置」の規格を制定し、車両生産時に架装メーカーで車両に取付けを行っています。

2017年以前に生産された車両、および架装オプションによっては「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置」が取付けられていないので、現在も重大な労働災害事故の発生リスクが存在しています。作業の注意喚起と「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置」のご案内いたします。安全装置を取付けることにより、車両をご安全にお使いいただきたく存じます。

作業現場イメージ

ハッチ周辺を見ながら油圧装置操作ができない

油圧装置操作がされてハッチが開まるうとしていることに気がつかず挟まれる

「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置」を取付けることにより、ハッチの開閉作業中に音響が鳴動→ハッチが動いていることが分かる



清掃車小委員会(委員長・松岡誠・兼松エンジニアリング(株)技術開発部マネージャー)は、2024年5月に「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置」のご案内を発行した。

レシーバーハッチを閉める際に人が挟まれる労働災害事故が発生していることから、「レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置」を使用して安全に作業するための注意事項やレシーバーハッチ挟まれ防止安全装置が取付けられていない車両、主に2017年以前に製作された車へのレシーバーハッチ挟まれ防止安全装置の取付けの推奨などを紹介している。

詳しくは、以下参照

<https://www.jabia.or.jp/news/15569/>



## ■脱着車キャリア・コンテナ技術分科会「コンテナ法規遵守リーフレット」を更新

脱着車キャリア・コンテナ技術分科会(キャリア主査・松下晃久・新明和工業(株)特装車事業部ダンプ・脱着Gグループ長/コンテナ主査・三ツ井実・極東開発工業(株)特装事業部第二設計課長)は、2024年5月、道路交通法の改正に伴いコンテナ法規遵守リーフレットを更新した。

**脱着車をご愛用の皆様へ**

Japan Auto-Body Industries Association Inc.  
一般社団法人 日本自動車車体工業会  
特装部会 脱着車キャリア・コンテナ分科会

脱着車用コンテナは、道路交通法上「積載物」として扱われています。

1. 脱着車の最大積載量  
脱着車の「最大積載量」の数値には「積載物」であるコンテナの自重も含まれています。

最大積載量 = コンテナ自重 + 実積載量

例えば・・・  
最大積載量 4,000kg  
コンテナ自重 800kg の場合、  
実際に積める荷物の積載量は 3,200kg です。

2. コンテナの寸法について  
下記をご参照いただき、コンテナは脱着車との適正な組み合わせで使用してください。

2-1 コンテナの全長

① 道路交通法(道路交通法施行令 第22条)の規定により、脱着車後端からの突出量が脱着車全長の1/10以下にしなければなりません。

★② 突入防止装置後面から、コンテナ後面までの距離を350mm以内(みなしバンパの場合は450mm以内)

★③ 小型車検校の車両は、脱着車コンテナ搭載時全長を4.7m以下

※ ★はJABIAの自主基準となります。安全を最優先とするため、JABIAに加盟しているメーカーは、本規準を遵守しています。

拡大

リヤバンパの場合  
コンテナ全長  
コンテナ後端  
コンテナゲート後面  
突入防止装置(リヤバンパ)後面  
脱着車の最後端  
脱着車全長  
突出量

みなしバンパの場合  
コンテナ全長  
コンテナ後端  
コンテナゲート後面  
みなしバンパ(フレーム平面部)後面  
脱着車の最後端  
脱着車全長  
突出量

コンテナ全長の1/10以下  
4.7m以下

コンテナ法規遵守リーフレットでは、道路交通法の積載に関する制限緩和後においても安全面を考慮した自主基準による扱いや、コンテナと脱着車の適正な組み合わせ(互換性)による使用などを推奨している。

詳しくは、以下参照

<https://www.jabia.or.jp/news/15566/>



## 特種部会

### ■UN-R46の衝撃要件に対する補助ミラーの影響確認方法ガイドライン(車体発23第194号)発行のお知らせ

特種部会 UN-R46対応WG(グループ長・(株)野口自動車 武澤真幸)では、補助ミラー追加架装における、母体ミラー重量増加の衝撃試験への影響を確認し、法規適合性に影響がない範囲をガイドラインとして整理した。

詳しくは、以下参照(会員限定)

<https://www.jabia.or.jp/news/15428/>



### ■JABIA規格「協定期則第34号対応燃料タンクへの改造方法の規格」発行

特種部会 UN-R34WG(グループ長・東京特殊車体(株) 常盤博之)では、JABIA規格A1501-2303「協定期則第34号対応燃料タンクへの改造方法の規格」を発行した。

詳しくは、以下参照(会員限定)

<https://www.jabia.or.jp/news/15369/>

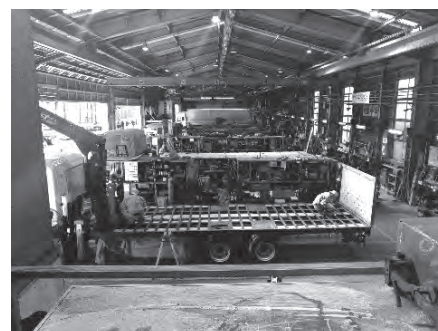


## トラック部会

### ■工場見学会を実施

業務委員会(委員長・近藤匠・名古屋ボデー(株)社長)では、3月1日に14社14名が参加し、司工業(株)(千葉県佐倉市)と(株)エフテック(千葉県若葉区)を見学した。

司工業(株)は、昭和22年よりトラックボデー製造メーカーとして東京都江戸川区に本社と千葉県佐倉市へ生産工場を置いてお



り、今回は千葉県佐倉市の生産工場の見学をした。最先端の技術と長年の経験により開発され実用新案登録されているスイングボデー



は荷台の中央部を支点として傾斜させることにより、狭いスペースでの重機の積載等が可能となっている。

車体工場を見学した際には、ボデーを形成する部材の一つひとつに時間と手間をかけた熟練の職人達の高い技術を用いた車両製作風景を見ることができ、参加された方々も興味深く観察をしていることが伺えた。また、司工業(株)では環境に配慮しエコアクション21の認証を受け重金属4物質フリー・CO<sub>2</sub>の削減にも取り組んでいる。

(株)エフテックは、千葉県四街道市と2020年に竣工した千葉市若葉区に工場を置いている。今回は整備事業と環境事業をメインとしている本社工場(千葉市若葉区)を見学した。

(株)エフテック本社工場では、国土交通省指定整備工場として約300台/月の車両整備を行っている。4柱リフト、フロアリフトに天井クレーンを完備し、エアツールをはじめ工場上部へパイピングされたホースから各オイルの給油と廃油が可能となり点検・整備の大幅な効率化が伺えた。更にDPRアクティブシステムの導入により、短時間でマフラー内部の洗浄・乾燥を可能としマフラーのASSY交換を減らすことで環境へ配慮し、工場内のCN取組み一例としては換気システム導入で冷房不要の設計となっており、CO<sub>2</sub>排出量の削減にも貢献している。



## バン部会

### ■「バンボディで押さえておきたい法規」改訂版発行のお知らせ

技術委員会(委員長・岩本好昭・日本フルハーフ(株)開発第一部部长)では、昨年2023年5月に改訂発行した「バンボディで押さえておきたい法規」に最新の法規を織り込み、再度改訂したので、お知らせいたします。

詳しくは、以下参照

<https://www.jabia.or.jp/news/15475/>



**バンボディで  
押さえておきたい法規**

～2020年4月以降 新規・改訂された法規～

ボディ

スイング車

作業風景

**【対象車両】**

**注意**

2019年3月、日本自動車車体工業会バン部会では、過去の再検査事例より見落としやすい法規のポイントとして「バンボディで押さえておきたい法規」を作成しました。その後、5年程が経過し、新たな法規の制定、及び改訂が行われております。本資料では、2020年4月以降に追加・改訂された法規のポイントをわかりやすく記載するように努めました。本資料を営業活動や製品設計の際に活用して頂き、業務の一助となれば幸いです。

一般社団法人日本自動車車体工業会  
バン技術委員会



### 中部支部

#### ■カーボンニュートラル第2回報告会を実施

中部支部(支部長・景井啓之・(株)東海特装車社長)は、3月7日、支部会員25社39名が参加し、(株)東海特装車(愛知県安城市)にて「現地現物改善事例報告会」を実施した。アドバイザーに環境委員会の杉山分科会長を迎え、「すべての改善はカーボンニュートラルに繋がる」との考えのもと、身近なテーマを中心に現地現物による全20事例を実担当者から説明を受けた。

常に改善を意識し小さな気づきをきっかけに的確に改善していることが実感できた。コーキングふき取り用の布の使い方、ゴミの分別により捨てていたものが買取り資源になった事例や「からくり」など、数多くの小さな改善の積重ねにより大きな成果をあげていた。大変価値ある報告会となった。



### 中国支部

#### ■「中・大型トラックにおける新たな安全基準説明会」を実施

中国支部(支部長・瀬川昌也・共立工業(株)社長)では4月24日、12社28名が参加し、広島市中小企業会館にて説明会を実施した。

日野自動車(株)架装技術グループ中谷係長を講師にお招きし、メーカーの架装要領書における側方衝突装置とバックアイカメラの架装時における注意点についてご説明いただいた。

質疑応答では中国検査部の田口検査官に対応いただき、登録業務に関する質問に対して大変分かりやすく説明が行われた。

支部会員からは、今後の架装について大変役に立つ有意義な説明会だったという意見が多く聞かれた。今後も支部会員に有益な説明会を開催していきたいと考える。



## 2024年度支部総会を実施

支部	支部長	開催日	場所	来賓
北海道支部	上野 聡 北海道車体(株) 生産開発本部 上席本部長	4月24日(水)	札幌東急REIホテル	(経) 佐々木 製造・情報産業課長補佐 (国) 鬼頭 自動車技術安全部技術課長
東北支部	鈴木 勇人 仙台鈴木自動車工業(株) 代表取締役	4月19日(金)	江陽グランドホテル	(経) 小林 地域経済部部長 (国) 藤田 自動車技術安全部部長 高橋 自動車技術安全部課長
新潟支部	北村 守 (資)中北車体工作所 代表社員	4月19日(金)	万代シルバーホテル	(国) 久手 自動車技術安全部部長 池田 自動車技術安全部技術課課長補佐 百石 新潟運輸支局首席陸運技術専門官
関東支部	矢島 廣一 埼玉自動車工業(株) 会長	4月24日(水)	芝パークホテル	(国) 大森 自動車技術安全部部長 高久 自動車技術安全部技術課長
中部支部	景井 啓之 (株)東海特装車 代表取締役社長	5月17日(金)	名鉄グランドホテル	(経) 柳原 産業部部長 宮本 産業部製造産業課自動車関連産業室長 川口 産業部製造産業課自動車関連産業室参事官 鈴木 産業部製造産業課自動車関連産業室 室長補佐 (国) 諸川 自動車技術安全部部長 藤埴 自動車技術安全部技術課長
近畿支部	須河 進一 須河車体(株) 代表取締役社長	4月25日(木)	グランヴィアホテル京都	(経) 濱崎 産業部製造産業課長 (国) 野中 自動車技術安全部部長 川口 京都運輸支局長 吉岡 自動車技術安全部技術課長
中国支部	瀬川 昌也 共立工業(株) 代表取締役	5月10日(金)	シエラトングランドホテル広島	(経) 和崎 地域経済部 自動車関連産業室長 (国) 児島 自動車技術安全部技術課課長
四国支部	藤田 健一郎 フジタ自動車工業(株) 代表取締役社長	5月10日(金)	リーガホテルゼスト高松	(経) 熊野 地域経済部部長 矢野 地域経済部製造産業・情報政策課長 (国) 松田 自動車技術安全部部長 遠藤 自動車技術安全部技術課長
九州支部	矢野 彰一 (株)矢野特殊自動車 代表取締役社長	5月14日(火)	八仙閣本店	(経) 仁田 地域経済部製造産業課長 (国) 中富 九州運輸局自動車技術安全部部長 姉川 九州運輸局自動車技術安全部技術課長 古賀 福岡運輸支局支局長 無田 自動車技術総合機構九州検査部部長



北海道支部



東北支部



新潟支部



関東支部



中部支部



近畿支部



中国支部



四国支部



九州支部



## 「幼児専用車の幼児用座席に適した座席ベルトに関するガイドライン」について

国土交通省

幼児専用車の幼児用座席に適した座席ベルトの検証結果及びそのベルトの運用上の留意事項を整理し、本ガイドラインを定めた。

## 「道路運送車両の保安基準第二章及び第三章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示の規定に基づく国土交通大臣が定める自動車等について(依命通達)」の一部改正について(依命通達)

国土交通省

本年4月1日から10月31日までの期間に製作される自動車及び同期間に発行された出荷検査証に係る自動車について、改正保安基準の適用を免除するよう適用整理告示の一部を改正する。

改正保安基準の主なものの例

側方衝突警報装置(保安基準第43条の9)

後退時車両直後確認装置(保安基準第44条の2)

## 「トラックの車両内ベットの設計上の配慮事項等について」の制定について

国土交通省

厚生労働省労働基準局長の定める要件を満たす車両内ベッドで休息した場合には、更なる拘束時間の延長が認められることとなったため、走行中に使用されるトラックの車両内ベッドの設計上の配慮事項等を定めた。

## 審査事務規程の一部改正について(第56次改正)

自動車技術総合機構

- ・自動車には、車両後退通報装置を備えなければならないものとして、対象とする自動車及び審査方法を規定する
- ・新車の指定自動車等について、第7章の規定によらず第6章の規定のみで審査ができるよう構成を見直す等

## 2024年度「不正改造車を排除する運動」への取り組み

国土交通省

不正改造車については、これまでも「不正改造車を排除する運動」を中心に、街頭検査等のあらゆる機会をとらえ、その排除に努めてきた。しかしながら、暴走行為、過積載等を目的とした不正改造車は、安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となっていることから、社会的にもその排除が強く求められている。特に、マイカーに改造を施したことにより保安基準に不適合となったもののその認識のないまま運行の用に供している自動車使用者、車検時には保安基準に適合させつつ車検後に不正改造を行う施工事業者、更にはそのような不正改造車について検査での合格を強要する悪質な事業者がいる状況となっている。このような状況を鑑み、国土交通省では、2024年度においても、関係省庁、自動車関係団体等の協力のもと、全国的に不正改造車の排除のための諸活動になお一層強力に取り組むこととしている。

当会では、ポスター・チラシを配布し、本部・支部が連携して昨年同様の活動を進めるので、不正改造防止について理解を深め、その排除に向けた積極的な取り組みをお願いする。

<詳しくは以下を参照>

<https://www.jabia.or.jp/news/15526/>



不正改造車を作らない!!  
乗らない!!

不正改造車の実施した者  
6ヵ月以下の懲役  
又は 30万円以下の罰金

不正改造車を排除する運動

不正改造車を見かけたら  
●車両のナンバー  
●不正改造の内容をこちらまで

不正改造車を  
排除する運動  
ホームページ

www.tenken-seibi.com

## 「経済センサスー基礎調査」への協力依頼

### 総務省

総務省では、2024年6月に「経済センサスー基礎調査」(統計法に基づく基幹統計調査)を実施する。調査へのご理解・回答をお願いする。

<詳細は以下を参照>

<https://www.stat.go.jp/data/e-census/2024/>



## 2024年経済産業省企業活動基本調査 (基幹統計調査)への協力依頼

### 経済産業省

経済産業省では、我が国企業における経済活動の実態を明らかにし、経済産業政策等各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、1992年以降「経済産業省企業活動基本調査」(基幹統計調査)を実施しており、2024年も実施する。調査に対する協力をお願いする。

○実施期間：2024年5月15日から6月30日まで

○根拠法令：統計法(平成19年法律第53号)

○調査目的：我が国企業における経済活動の実態を明らかにし、経済産業政策等各種行政施策の基礎資料とする

○調査対象：経済産業省が所管する産業(別表)に属している事業所を有する「従業員50人以上かつ資本金3,000万円以上の企業」。

○調査結果：2025年1月に速報を公表予定。

○調査方法：対象の企業へ調査関係用品を直接郵送

<詳細は以下を参照>

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kikatu/2024jissi.html>



## 経済構造実態調査への協力依頼

### 経済産業省

2024年6月に「経済構造実態調査」(統計法に基づく基幹統計調査)を実施する。なお、今回の調査については、同時期に実施される「経済センサスー基礎調査」と同時一体的に実施する。

詳しくは、以下URLから経済構造実態調査のホームページから

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

<リーフレット>

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/2024/kkj24leaflet.pdf>



## 2024年版中小企業白書・小規模企業白書を公表

### 経済産業省・中小企業庁

中小企業庁では、「2024年度版中小企業白書・小規模企業白書」を取りまとめ、公表した。

<2024年版中小企業白書・小規模企業白書の特色>

2024年版白書では、中小企業・小規模事業者の現状と直面する課題、今後の展望として、中小企業が環境変化を乗り越え、経営資源を確保して生産性の向上に繋げていくための取組みや、成長につながり得る投資行動とそのため資金調達、小規模事業者が売上げを確保し、今後も事業を持続的に発展させていくために必要となる取組み、事業の継続に欠かせない資金と人手を確保する取組み、支援機関の役割と体制の強化について、分析を行った。

公表日：2024年5月10日

<詳しくは、以下を参照>

<https://www.meti.go.jp/press/2024/05/20240510002/20240510002.html>



## 光化学スモッグの低減に向けた 対策の推進について(協力依頼)

### 経済産業省

光化学スモッグの低減に向け、更なるVOCの排出削減に協力をお願いする。

<詳細は以下を参照>

[https://tokenshi-kankyo.jp/pdf/20240516\\_voc\\_houdou.pdf](https://tokenshi-kankyo.jp/pdf/20240516_voc_houdou.pdf)





局別	経済産業局別	当会の相談窓口	部長名	課長名
産業部	関東	製造産業課	小澤 元樹	麻生 浩司
	中部	製造産業課	柳原 和男	宮本 哲哉
	近畿	製造産業課	鈴木 貴詞	濱崎 千弥喜
地域経済部	北海道	製造・情報産業課	渡邊 泰弘	佐々木 信之
	東北	製造産業課	小林 和昭	千葉 雅幸
	中国	製造産業課	高野 史広	藤村 俊文
	四国	製造産業・情報政策課	熊野 哲也	矢野 照久
	九州	製造産業課	楠木 真次	仁田 純一

国土交通省地方運輸局

局別	運輸局長	自動車技術安全部長	技術課長	整備課長 ※整備・保安課長	保安・環境課長 ※保安・環境調整官	管理課長 ※管理業務調整官
北海道	井上 健二	目谷 要介	鬼頭 和博	※山下 秀和	※中里 秀人	田中 文哉
東北	石谷 俊史	藤田 一彦	高橋 勇一	※渡邊 雅樹	※鈴木 宏之	島屋部 敦
北陸信越	佐橋 真人	久手 俊彦	渡辺 彰範	※芦澤 宏明	※大羽 和夫	渡邊 直美
関東	勝山 潔	大森 隆弘	高久 浩一	黒田 隆行	滝田 雅彦	尾崎 陽子
中部	金子 正志	諸川 慎治	藤墳 泰司	山口 智也	西川 博幸	山内 三奈
近畿	日笠 弥三郎	野中 秀紀	宮下 博考	竹内 弘明	浦部 勝弘	北村 正次
中国	益田 浩	土生 眞生	児島 健二	※安部 則文	※中原 正雄	嶋谷 徹
四国	河野 順	松田 力	遠藤 進	※植田 純平	※山本 修一	※竹藪 美江
九州	吉永 隆博	中富 康宏	姉川 英紀	森田 恵	土屋 善宏	齊藤 光則
沖縄	—	運輸部長 星 明彦	車両安全課長 伊志嶺 友浩	—	—	—

事業者の皆様

## VOC 排出削減にご協力をお願いします!

夏場は気温が高く、特に有機溶剤が揮発しやすい時期です。

### 光化学オキシダントの生成メカニズムと VOC 排出削減対策の重要性

VOC (揮発性有機化合物 Volatile Organic Compounds) は、有害な光化学オキシダントの原因物質の一つです。光化学オキシダントが高濃度になると、光化学スモッグが発生します。

- VOC 使用例
  - ・塗料 (塗料、機器の洗浄剤)
  - ・印刷 (インキ、オフセット印刷の溶し水)
  - ・燃料・接着剤 等
- VOC の特性
  - ・高蒸発しやすい
  - ・大気中で NOx (窒素酸化物) と共に太陽光を受けて、光化学オキシダントを生成
  - ・SPM (浮遊粒子状物質) や、PM2.5 (微小粒子状物質) を生成
- 光化学オキシダントの影響
  - ・健康への被害 (目や喉への刺激など)
  - ・植物への被害

⇒光化学オキシダントを減少させるためには、原因物質であるVOCを削減することが重要です。

### 夏季対策の重要性

光化学スモッグ注意報は、夏季に多く発令されます。  
※光化学オキシダントが高濃度 (0.12 ppm) となり、その継続が懸念される場合に発令

- 光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件
  - ① 気温が 25℃ 以上
  - ② 日照がある
  - ③ 東京湾や相模湾から海風の流入がある など

⇒夏季 (6月~9月) は条件がそろいやすいため、特に対策が重要です。

### 広域連携の必要性

光化学オキシダントは、広い範囲で高濃度になります。  
高濃度の光化学オキシダントは、風による移るの影響なども加わり、広い範囲で発生することから、VOC を広域にわたって削減させる必要があります。埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉県・さいたま市・相模原市で連携して VOC 排出削減対策に取り組んでいます。

九都県市首脳会議 環境問題対策委員会大気保全専門部会  
(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉県、さいたま市、相模原市)

## VOC 排出削減対策

～簡単にでき、比較的削減効果の高い対策を中心に紹介します!～

### 事例① 保存・貯蔵における揮発防止対策

- ・使用時以外の容器のふた閉め
- ・直射日光や高温の場所を避けての容器保管
- ・洗浄剤の再利用を検討

容器のふた閉め

※VOC 削減効果は約 1/100 に減少します (※VOC 削減効果は約 1/100 に減少します)

### 事例② 低VOC製品の選択

- ・水性塗料、ハイソリッド塗料
- ・水系洗浄剤 (脱脂洗浄)
- ・ノンVOCインキ、水性インキ

水性塗料の品質は向上しており、塗料系塗料とは同等の耐久性があります。

その他にも、取り扱えることがあります。

### 塗装工事発注時

- ・低VOC塗料の採用を仕様書等 (図面、要領仕様) で指定する
- ・塗料時期を夏季以外とする

### 印刷発注時

- ・ノンVOCインキ、水性インキを仕様書等で指定する
- ・グリーンプリンティング (GP) 認定を受けた工場へ依頼する

### 事業所で使用する自動車について

- ・エコドライブを奨励する
- ・給油時は大気環境配慮型給油所 (e-AIS) を利用する
- ・九都県市指定エコガソリンを選択する

## VOC 排出削減対策のメリット

- 無駄な蒸発を防ぎ、原材料費を削減
- 作業所の悪臭・従業員の健康被害の防止
- 悪臭苦情の減少

九都県市あおそらネットワークホームページ: <https://www.9taiki.jp/>



# ご存知ですか、このラベル。

環境にやさしい働くクルマに付いてます。

## “環境基準適合ラベル”

環境基準適合ラベルは、架装物解体作業の容易化、再生資源の適正な処理を促進する“環境にやさしい車体”であることを証明する車体工業会で制定したラベルです。



環境基準適合ラベル  
ホワイトラベル 環境に配慮した  
3つの要件

適合  
要件

- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)判断基準ガイドラインの作成・活用
- 製造者名、樹脂部品材料名の表示
- 解体マニュアルの作成・公開

新環境基準適合ラベル  
ゴールドラベル ホワイトラベルに  
さらに3つの要件を追加

追加  
要件

- + 車体製品部材のリサイクル可能率95%以上  
車体工業会における  
「環境負荷物質自主取組み基準」  
を満たしている
- + ISO14001やエコアクション21など  
第三者機関による環境認証取得工場で生産



環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録され掲載されています。[https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04\\_48.html](https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04_48.html)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

12 つくる責任  
つかう責任



私たちは持続可能な  
開発目標(SDGs)を  
支援しています。

 一般社団法人 **日本自動車車体工業会**  
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館15階 TEL(03)3578-1681 FAX(03)3578-1684

詳しくはWebページをご覧ください。

JABIA

検索



[www.jabia.or.jp](http://www.jabia.or.jp)



事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。



危ない!



お  
と  
と

## おとさめのための 点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

## トルクレンチで 適正締付

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

## 動画をチェック!

正しい点検方法  
や連結式ナット  
回転指示インジ  
ケーターの使用  
方法をご案内し  
ています。



大型車の

# 車輪脱落事故

さ

## さびたナットは 清掃・交換

ディスクホイール  
取付面、ホイール  
ナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、  
ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



な

## ナット・ワッシャー 隙間に給脂

ホイールボルト、ナットの  
ねじ部と、ナットとワッ  
シャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄  
く塗布し、回転させて油をなじませてください。



い

## いちにち一度は 緩みの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、  
ボルト、ナットを目で見て手で触って点検します。

「おとさない」  
を徹底しよう!



Mr. 整備くん





# 不正改造車を 作らない!!! 乗らない!!!

不正改造車の使用者

整備命令の発令

↳ 従わない場合使用停止命令の発令

不正改造を実施した者

6ヵ月以下の懲役

又は30万円以下の罰金

## 不正改造車を排除する運動

不正改造車  
迷惑黒煙車  
通報連絡先

不正改造車を見かけたら

- 車両のナンバー
  - 不正改造の内容
- をこちらまで



不正改造車を  
排除する運動  
ホームページ



推進/国土交通省、不正改造防止推進協議会 後援/内閣府、警察庁、農林水産省、経済産業省、環境省 協力/独立行政法人自動車技術総合機構、軽自動車検査協会

(一社)日本自動車整備振興会連合会、日本自動車車体整備協同組合連合会、全国自動車電装品整備商工組合連合会、全国タイヤ商工協同組合連合会、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、日本自動車輸入組合、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本自動車車体工業会、(公社)日本バス協会、(公社)全日本トラック協会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)日本陸送協会、全日本自動車部品卸商協同組合、(一社)日本自動車タイヤ協会、(一社)全国軽自動車協会連合会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車連盟、(一財)自動車検査登録情報協会、(一社)日本自動車会議所、(一社)日本二輪車普及安全協会、(一社)全国自動車標板協議会、全国石油商業組合連合会、(一社)自動車用品小売業協会、日本ウィンドウ・フィルム工業会、(一社)日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会、(一社)全国二輪車用品連合会、全国ディーゼルのポンプ振興会連合会、全国自動車大学校・整備専門学校協会、全国自動車短期大学協会、全国オートバイ協同組合連合会



# トレーラのブレーキ利き不良に注意

オートマチック・スラック・アジャスタの点検整備のお願い

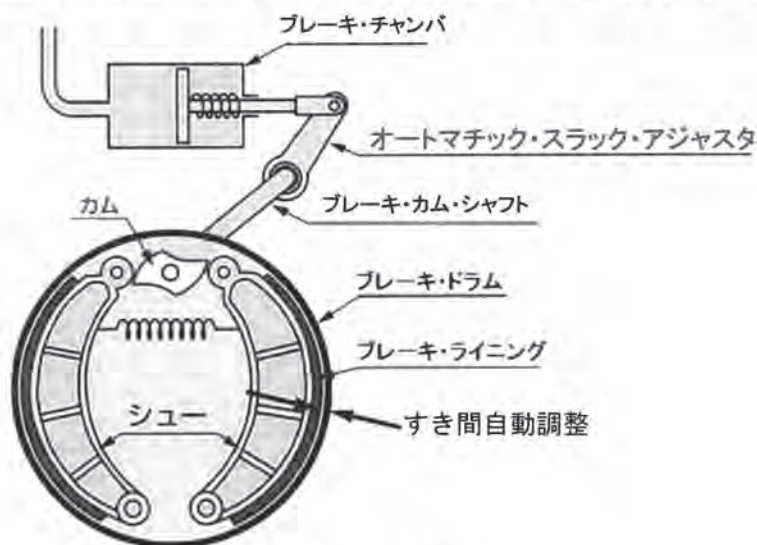
オートマチック・スラック・アジャスタの点検整備を怠ると



トレーラのブレーキ利き不良

## オートマチック・スラック・アジャスタとは

オートマチック・スラック・アジャスタは、2000年7月(中期ブレーキ規制)から装着された、ブレーキ・ライニングとドラムとの隙間を自動的に調整し、ブレーキの利き具合を最適化する装置です。



ブレーキ装置概要

## オートマチック・スラック・アジャスタに負担のかかる条件

中期ブレーキ規制以前、停車時におけるブレーキ操作は、トレーラ・ブレーキ・レバーで行う場合があります。中期ブレーキ規制以降、ブレーキ操作系の変更に伴い、停車時におけるブレーキ操作は、トラックの駐車ブレーキ・レバーで行われる場合があります。この操作を多用される場合や登り降りの頻繁な走行等ではオートマチック・スラック・アジャスタやブレーキ・カム・シャフト等に負担がかかり、故障する場合がありますため『シビア・コンディション時の点検』が必要です。点検整備を行うことにより、これらの性能維持や故障時の早期発見が可能となります。



## 3月

1日	第4回広報委員会 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 車体NEWS春号の校正・編集 ③ 車体NEWS2025記事作成部会の論議・決定	
	トラック部会／第2回業務委員会(千葉)	① 司工業(株)、(株)エフテックの工場見学を実施 ② 事業計画の進捗状況の共有・論議	▶P.16
4日	特装部会／塵芥車技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 塵芥車の製作基準(JABIA-P1701)の見直しについて議論 ② その他情報交換	
	バン部会／部会会議 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況共有・論議 ② CN部会活動について情報交換 ③ 2024年度計画についての論議	
5日	中央技術委員会／ 突入防止装置技術委員会(Web会議)	① 2023年度事業計画進捗状況の共有・論議 ② 2024年度計画論議・決定 ③ その他情報交換	
	第4回環境委員会 (当会会議室+Web会議)	① 架装物リサイクル分科会報告 2023年度事業実績報告及び2024年度事業計画提案 主に環境基準適合ラベルの社会訴求、取得推進について議論 ② 工場環境分科会報告 2023年度事業実績報告及び2024年度事業計画提案 主にCN推進WGの活動、部会・支部連携について議論	
6日	第4回中央技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画推進状況課題対応について意見交換 ② 2024年度事業計画の確認	
7日	第4回中央業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② CNアンケート回答状況の共有及びCN推進方策の論議 ③ 中小会員NW強化WG及び安全衛生活動WGの共有	
8日	特装部会／ダンプ車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② 特装部会CNWGに関する情報共有	
11日	特装部会／脱着車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ コンテナ法規遵守リーフレット更新について議論 ④ 「多目的コンテナ普及活動検討会」報告	
12日	中央技術委員会／ CS/SU&コネクテッド検討WG (Web会議)	① 架装工事ガイドライン内容論議 ② 架装CS確認書内容論議 ③ 架装電気工事チェックリスト内容論議	
	トラック部会／部会会議 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況共有・論議 ② CN部会活動について情報交換 ③ 2024年度計画についての論議	
	バス部会／ ワンマン機器小委員会(Web会議)	① JABIA規格「バス乗客降車台装置」改正2024年度進め方の論議 ② カラーユニバーサルデザイン(CUD)事務局訪問日程の検討	
	バス部会／ 塗装デザイン研究会(Web会議)	① 塗装技術者向け勉強会(11/16)のアンケートまとめと次回への課題の共有 ② 2024年度勉強会の日程や進め方の論議 ③ バス車体色見本帳2023販売実績の共有	
13日	特装部会／ サービス委員会(当会会議室)	メンテナンスニュースNo58の原案・校正について検討	
	バス部会／技術委員会・ワンマン機器 小委員会合同会議(Web会議)	① 2023年度新規テーマの活動確認及び2024年度新規テーマの論議 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有	
	第3回支部連絡会 (当会会議室+Web会議)	① 支部事業活動の共有化 ② 次年度支部総会運営方法の確認	

14日	第275回理事会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 新入会員に関する件</li> <li>第2号議案 2024年度通常総会の改善(案)に関する件</li> <li>第3号議案 2023年度事業報告 及び 2024年度事業計画(案)に関する件</li> <li>第4号議案 2023年度収支報告(決算見込み)及び2024年度収支報告書(予算案)に関する件</li> <li>第5号議案 評議員変更に関する件</li> </ul> </li> <li>② 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)2023年度JABIA規格化・標準化／共通化／調査研究実績及び2024年度計画</li> <li>2)最近の官公庁情報</li> <li>3)支部からのトピックス(近畿支部)</li> <li>4)その他報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>4-1 2024年度 車体工業会主要会議日程(見直し)について</li> <li>4-2 2024年度 通常総会の開催について</li> <li>4-3 2024年度 支部・部会総会計画について</li> <li>4-4 2024年度 車体工業会海外(IAA)視察について</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	バス部会／業務委員会(Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中央業務委員会(3/7)及び環境委員会(3/5)資料の共有</li> <li>② 2023年度第四半期活動及び2024年度4月部会総会の確認</li> <li>③ バス部会長報告(2/6)内容の共有</li> </ul>
15日	特装部会／技術委員会(当会会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2023年度事業計画推進状況課題対応について意見交換</li> <li>② 2024年度事業計画の確認</li> </ul>
18日	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2024年度都道府県トラック協会講習会資料の共有</li> <li>② 2024年度自動車検査官講習の日程及び講師会社の確認</li> <li>③ 2024年度工場見学会の日程及び行程について検討内容の共有</li> </ul>
19日	特装部会／ミキサ車技術委員会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論</li> <li>② CN活動に関する共通課題の情報共有</li> <li>③ 2024年度事業計画の確認</li> </ul>
21日	中央技術委員会／テールゲートリフタ 技術分科会(当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第4回中央技術委員会論議内容の共有</li> <li>② 2024年度活動計画論議</li> <li>③ 2024年度体制論議・決定</li> </ul>
	トレーラ部会／製品安全委員会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 整備事業者へトレーラ整備作業の周知活動の共有</li> <li>② 適正な交換部品の使用 雑誌広告出稿済の確認</li> <li>③ 日整連との連携及び訪問日程の検討</li> </ul>
22日	特装部会／粉粒体運搬車技術分科会 (当会会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論</li> <li>② CN活動に関する共通課題の情報共有</li> </ul>
	トラック部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2023年度技術テーマの進捗共有・論議</li> <li>② 中央技術委員会情報の共有</li> <li>③ 2024年度計画についての論議</li> </ul>
	資材部会／役員会(東京+Web会議)	2024年度事業計画案、収支予算案について論議
27日	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① CS/SUのトレーラ適用問題及び関連WGの共有・論議</li> <li>② JASIC一般安全分科会内容の共有及びR48改正WGメンバー検討</li> <li>③ 中央技術委員会及び突入防止委員会内容の共有</li> </ul>

## 4月

3日	バス部会／部会総会(神奈川)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認</li> <li>② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認</li> <li>③ 2024年度部会役員・委員の審議・承認</li> </ul>	▶P.15
9日	バス部会／ ワンマン機器小委員会(Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① JABIA規格「バス乗客降車台装置」改正2024年度進め方の論議</li> <li>② カラーユニバーサルデザイン(CUD)事務局訪問内容及び資料の確認</li> </ul>	
10日	トレーラ部会／サービス・業務委員会 都道府県トラック協会研修会(神奈川)	<p>神奈川県トラック協会主催、71名参加、 講師:吉村サービス委員長・福西業務委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① トレーラの安全な使用(火災防止と車輪脱落防止)</li> <li>② トレーラ関係法令改正内容の紹介と輸送効率向上、横転抑制装置の有効性</li> </ul>	
	バス部会／技術委員会ワンマン機器小 委員会合同会議(Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2024年度新規テーマ及びJABIA規格・車体規格改正の活動確認</li> <li>② 協定規則、法改正動向の共有と対応</li> <li>③ 他団体活動の共有</li> </ul>	
12日	バン部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2024年度技術テーマの論議</li> <li>② 法規関連情報の共有</li> </ul>	
16日	特装部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 1月～3月ステッカー販売報告について</li> <li>② メンテナンスニュースNo.58検討(原案・構成検討)</li> </ul>	

16日	バン部会／部会総会(東京)	① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2024年度部会役員・委員の審議・承認	▶P.15
18日	第276回理事会 (当会会議室+Web会議)	① 審議事項 第1号議案 2023年度事業報告及び2024年度事業計画(案)に関する件(含む支部) 第2号議案 2023年度収支決算(本部・部会)及び2024年度収支予算案に関する件 第3号議案 理事・監事の変更に関する件 第4号議案 功労者表彰・永年在籍会員表彰(案)に関する件 第5号議案 優良従業員表彰(案)に関する件 第6号議案 支部登記に関する件 ② 報告事項 1) 会員状況 2) 会員会社の車体生産状況 3) 商用車販売実績について 4) 会員のリコール等重大不具合結果 5) 最新の官公庁情報 6) 部会からのトピックス(バス部会) 7) その他報告事項 7-1 車体NEWS原稿依頼先一覧 7-2 次年度本部委員会体制	
	小型部会／部会総会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2024年度部会役員・委員の審議・承認	▶P.15
19日	特種部会／部会総会(東京)	① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2024年度部会役員・委員の審議・承認	▶P.15
22日	環境委員会／架装物リサイクルWG (当会会議室+Web会議)	① 2024年度事業計画の共有 ② 実施項目の進め方議論 他	
23日	特装部会／部会総会(東京)	① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2024年度部会役員・委員の審議・承認	▶P.15
	トラック部会／部会総会(徳島)	① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2024年度部会役員・委員の審議・承認	▶P.15
	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① CS/SUのトレーラ適用問題及び関連WG・自工会合同検討会の共有・論議 ② 外部関連団体の各種部会・分科会・WG参画による内容の共有 ③ JABIA規格「トレーラに関する用語」の改正検討	
	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2024年度都道府県トラック協会講習会 派遣講師の検討・選定 ② 2024年度工場見学会の日程及び行程について検討内容の共有 ③ 「トレーラ定期点検整備の手引き」・「トレーラサービスマニュアル」の改訂作業	
25日	中央技術委員会／CS/SU&コネクテッド法規説明会(当会会議室+Web会議)	架装工事ガイドラインの説明会を開催。53社117名が参加	
	トレーラ部会／製品安全委員会(Web会議)	① 2023年度活動実績の振り返り及び2024年度活動計画の確認 ② 整備事業者へトレーラ整備作業周知活動の共有 ③ 日整連との連携及び訪問・打合せ結果の共有	
26日	トレーラ部会／部会総会(当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2024年度部会役員・委員及び委員会体制の審議・承認	▶P.15
	資材部会／部会総会(東京)	① 2023年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2024年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2024年度部会役員・委員の審議・承認	▶P.15

### 5月

7日	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	① JABIA規格「バス乗客降車台装置」改正2024年度進め方の論議 ② カラーユニバーサルデザイン(CUD)勉強会の計画・検討	
----	----------------------------	---	--



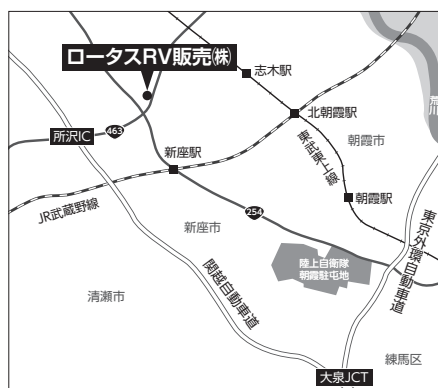
7日	中央技術委員会／突入防止装置技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2024年度JABIAリベットの調査計画について議論 ② 一般安全分科会報告 ③ 次年度以降の体制について議論	
8日	バス部会／技術委員会&ワンマン機器小委員会 合同会議 (Web会議)	① 2024年度新規テーマ及びJABIA規格・車体規格改正の活動確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有	
9日	相談役会 (当会会議室+Web会議)	① 通常総会議案に対する諮問 ② 事務局業務改革に対する諮問	▶P.15
	評議員会 (当会会議室+Web会議)	通常総会議案に対する諮問	▶P.15
10日	トラック部会／車両運搬車分科会 (当会会議室)	① 2024年度の取組みについての論議 ② 法規関連情報の共有	
14日	特装部会／清掃車小委員会 (当会会議室)	① 2024年度の取組み内容について議論 ② ものづくり研究課題の情報共有	
17日	バン部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2024年度の活動指針についての論議 ② 法規関連情報の共有	
20日	中央技術委員会／臨時テールゲートリフト技術分科会 (当会会議室+Web会議)	TGL人搭乗要件策定のキックオフミーティング	
21日	特装部会／塵芥車技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 緊急停止装置の施行状況確認 ② R158対応について情報交換並びに共有	
22日	環境委員会／架装物リサイクルWG (当会会議室+Web会議)	① 実施項目の進め方議論 ② 環境対応事例発表会の発表者選定 他	
	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① CS/SUのトレーラ適用問題及び関連WG・自工会合同検討会の共有・論議 ② 外部関連団体の各種部会・分科会・WG参画による内容の共有 ③ JABIA規格「トレーラに関する用語」の改正検討	
23日	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2024年度都道府県トラック協会講習会 派遣講師の検討・選定 ② 2024年度工場見学会の事前最終確認 ③ 「トレーラ定期点検整備の手引き」・「トレーラサービスマニュアル」の改訂作業	
24日	通常総会 (東京)	<別掲参照>	▶P.3
28日	中小会員NW強化WG／営業マン勉強会 (熊本)	① (株)イズミ車体製作所本社工場見学 ② 2023年度チーム活動結果の各社における活動状況共有会	
28日 ~29日	トレーラ部会／工場見学会 (埼玉・栃木)	ブリヂストンBRM(株)加須工場及び(株)ブリヂストン栃木工場、ジェイ・バス(株)宇都宮工場の見学会を実施	
29日	特装部会／特装サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	メンテナンスニュースNo.58記載内容について検討	
31日	第1回広報委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2024年度事業計画の進捗状況の確認・論議 ② 車体NEWS2024夏号校正	

## 会員情報

■入会	正会員	ジーエムいちほら工業(株) 代表取締役 光野 幸子 〒322-0046 栃木県鹿沼市縦山町上原267 TEL. 0289-64-1511 【主要製品】 消防自動車 【所属部会】 特装部会		
	準会員	(株)コラント 代表取締役 堀 雅利 〒501-6311 岐阜県羽島市上中町長間1881 TEL. 058-398-2777 【主要製品】 トラックテールランプ、サイドマーカー、車高灯、路肩灯、LEDバルブ 【所属部会】 資材部会		
■代表者変更	正会員	いすゞ車体(株)	代表取締役社長	平尾 聡
		SGモータース(株)	代表取締役社長	松井 康裕
		光伸(株)	代表取締役社長	野口 隆行
		(株)シスコム	代表取締役	中澤 容二郎
		東邦車輛(株)	取締役社長	富田 政行



松本 興太郎 代表取締役



#### DATA

- 本社 〒354-0046  
埼玉県入間郡三芳町竹間沢東2-2  
TEL 049-274-3600  
FAX 049-274-3601  
URL <https://rotas-rv.com/>
- 資本金 2,000万円
- 従業員 5名
- 事業所規模  
敷地：2,950㎡ 工場：440㎡
- 車体工業会加入  
2022年3月(特種部会)



## ロータスRV販売(株)

### お客様とスタッフの笑顔を大切にして、 幸福を育むキャンピングカーを作り出す

キャンピングカー黎明期に創業。以来、顧客とスタッフの笑顔を大切に、毎日楽しく事業を続けてきた。楽しむだけでなく、架装事業の多角化も着実に進め、自分たちのペースで楽しみながら事業を続けていく。

車体工業会 小森 啓行

#### ● 特徴・沿革

ロータスRV販売(株)の創業は、1990年、埼玉県で自動車パーツの製造・販売を手掛ける(株)ロータスの販売部門が、キャンピングカーの企画・製造・販売を専門に手掛ける会社として分離独立したことから始まる。

キャンピングカーは、当時まだ日本国内で認知され始めた時代であったが、興味のあるユーザーは一定数存在し、確かな需要があった。趣向性の高い商品の特性として、納車を待ってもらうことも常で、高付加価値のビジネスとして成立できる。

日本国内での使い勝手を追及した様々なバリエーションのキャンピングカーを開発・販売し、現在では、日本各地で非常に多くの回数が開催されているRV関係のイベントが購入動機に繋がることもあり、販売代理店が出展するイベント展示の手伝いで、営業が全国を飛び回っている。

コロナ禍の特需を過ぎた今も、キャンピングカーへの関心は強く、まだまだ力強いニーズを感じている。

キャンピングカー以外にもODA(政府開発援助)の医療車両や被災地向けのトイレトレーラその他、大型トラックのキャビンの上に取り付ける「スーパーマルチルーフ」等、キャンピングカー製作で得た技術やノウハウを活かして、架装事業の多角的な展開を行っている。



全国のキャンピングカーイベントで展示

## 製品

### — 御社の業務の特徴についてお聞かせください。

軽自動車からワンボックス、トラックをベースとした自社ブランドでのキャンピングカーの製造・販売を主にしています。

キャンピングカー作りのノウハウを活かして、医療系や災害系の車両の架装も手掛けています。



バンをベースとした人気キャンピングカー「Flipper」シリーズ



ODAで途上国で活躍する医療系車両。内部の医療機器の配線レイアウトや水廻りにはキャンピングカー作りのノウハウが活かされている

### — どのような製品を手掛けているのでしょうか？

自社ブランドのキャンピングカーはもちろんですが、大型トラックのキャンピングを加工してルーフに取り付け、快適な休憩空間を作る「スーパーマルチルーフ」が好調です。

また、途上国で活躍するODA車両の架装も行っています。歯科診療車、レントゲン車等、医療系を中心としたODA車両の架装実績があります。

今年の能登半島地震で活躍いたしました災害用トイレトレーは、アメリカで製作した車両を弊社で最終的に日本向けに架装して、被災地へ届けています。



能登半島地震の際にも活躍した災害用トイレトレー



大型トラックのキャブのルーフに取り付けて、快適なスペースを作る「スーパーマルチルーフ」。



### — 御社の経営方針は？

事業の始まりが、レジャー産業であるキャンピングカーの製造・販売であることもあり、従業員には、真面目かつ楽しんで仕事をしてほしいと思っています。ニッチの中のニッチを担い、自分たちができる最大限を行う。

経営者と従業員の近い距離を大切にして、無理な背伸びはせずに、スタッフとお客様が笑顔でいられる経営を目指しています。

## 人

### — 御社の特徴は？

少人数でできることには限りがあるので、適時・適材・適所で業務に従事しています。特に事業を急拡大させていく予定はありませんので、現状維持を続けていく中で、人財の新陳代謝をゆっくりと進めています。

### — 次世代の教育について

年齢や経験ではなく、個々の「人間性」を重視しています。

キャンピングカーのベース車両は旧式のシャシもまだ多く、最新の知識だけでは対応できません。サービスにしても営業にしても、基本的に、現場でのOJTで教えています。時代に合

わせて、丁寧にマンツーマンで、教えるようにしています。





## 法規遵守のドレスアップパーツで個性を演出

(株)コラント

(株)コラントは2007年7月、岐阜県羽島市で創業。主にLEDランプを中心とした自動車のドレスアップパーツの開発・製造・販売を行っている。創業者である堀社長は大阪で食品メーカーの営業をしていたが、好きなことでの創業を決意。出身地に戻り、家族から期限3年の許可を得て、モノづくりの基本を学ぶために、独立志望で自動車部品のメーカーで修行。そこで、文字通り365日休まず勉強し、モノづくり工程、工場手配や材料仕入れのノウハウを学び独立した。

車やオートバイの他、魚釣りやダイビングが趣味だったので、当初の事業は水槽で珊瑚や水生植物を育てやすくするキット製品の販売を目指していた。社名であるCorlantはCoral(珊瑚)+Plant(植物)からの造語である。

しかし、保証もバックボーンもなく、製品ロット数や単価が高すぎて、自分のやろうと思ったことが全くできなかった。どうにか実現できそうな事業は水槽照明のLED化で、一度は水族館に採用されるも、その先は伸び悩んでしまった。

もう後がない状況の中、水槽から離れ、アイデアとして持っていた自動車用LEDテールランプ開発に着手する。

当時の人気車種向けの交換用ドレスアップパーツとして販売したところ、予想を超える大ヒット商品となる。

### 自動車用品ブランド「Valenti(ヴァレンティ)」

色鮮やかなLEDランプはドレスアップ業界で評判となり、他の車種向け製品のラインナップの拡充とともに、3年の歳月をかけ、フロントライト用LEDを開発。ハロゲン球と交換できるLED前照灯を世界で初めて販売する。

他社から類似商品が続々と販売される中、ファッション感覚でテールランプを演出する同社の製品は、「車のLEDランプならValentiブランド」の地位を確立していった。

2015年には名神高速道路沿いに新社屋と物流センター



堀 雅利 代表取締役

を建設し、現在約100名のスタッフが従事している。

不正なイメージを持たれやすいドレスアップパーツだが、(株)コラント

では、ECE規格に準拠した安全品質とコンプライアンスを重視した製品作りを心がけ、時代にマッチしたドレスアップパーツの普及を目指している。

### トラック用ブランド「花魁(OIRAN)」。

(株)コラントが手掛けるトラック用ドレスアップパーツブランド「花魁」は、オランダで毎年開催されている「トラックスターフェスティバル」に日本の部品メーカーとして初出展し、クールジャパンとして好評を博した。

乗用車用と比べて、トラック用ドレスアップパーツは車種を問わない汎用性があり、取付



5月に開催された「ジャパントラックショー2024」にも出展。取付も架装工場の技術力でフォローしてもらえるメリットもあり、(株)コラントも力を入れている事業である。

しかし、商用車は乗用車とは次元が異なる大きな振動が発生するため、開発当初はLED基盤の配線が断線してしまうトラブルも発生した。北海道から九州・沖縄まで、各地の過酷な環境に晒される製品作りには、日々改良が求められ、振動や耐候の試験が自社の設備で行われている。

トラックの個性をさり気なく演出し、表情を変化させる「花魁」ドレスアップパーツは、不正ではないという認知度も向上し、無個性な製品では飽き足りないユーザーのニーズも増えている。当然ながら、ドレスアップに理解を得られないディーラーも存在するが、コンプライアンスを重視し安心して使える製品と周知する努力も続けられている。

車体工業会への加入とともに、業界各社とのつながりを深め、様々な現場で何が求められているかの情報を得て、今後の製品開発に生かしていく。

(株)コラント 代表取締役 堀 雅利

私達は新しい「特別」を創造することで人々に喜びを提供します。

【本社】〒501-6311 岐阜県羽島市上中町長間1881

Tel: 058-397-0303 <https://corlant.co.jp/>



私たちは資材部会を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会13グループからなる「ビジネスネットワーク」を設置しております。この「ビジネスネットワーク」は会員の強い連携と結束を実現し、架装メーカーに対して、積極的な協力体制を目指しています。

「VOICE」では、部会会員会社の紹介や製品が開発されるまでのエピソード等を紹介していきます。

## トラック用樹脂製フェンダーとツールボックス

伸工貿易(株)

1966年設立の伸工貿易(株)は、合成ゴムの輸入販売を通して化成品業界における業務を展開、トラック・トレーラ業界へ仕事の幅を広げ、1971年にトラック及びトレーラ部品の世界最大の主要メーカーであるSAFホランド社と合併会社を設立して輸入販売を開始した。海外の有力メーカーと各種大型車両部品の代理店契約を締結し、トラック・トレーラをはじめとした広範囲な営業活動を展開している。

### 樹脂フェンダー

伸工貿易(株)は、ヨーロッパにおける長年の実績で日本のパーツ市場への足がかりとなる代理店として知られている。トラック・トレーラ用の樹脂製フェンダーのトップシェアを誇るイタリアのDOMAR社と契約し、伸工貿易(株)が樹脂製フェンダーの取り扱いを始めたのは10年以上前に遡る。

当時、日本国内のフェンダーはステンレス製かFRP製が主流であったが、ヨーロッパではDOMAR社が製造する「軽くて丈夫でデザイン性が高い」製品によって、急速に樹脂製フェンダーの採用が拡大していた。

樹脂製フェンダーは、シャシに取り付けた専用のステーに軽量の本体を装着するだけなので、施工も簡単にできる。穴開け加工も容易で、任意の位置にステーを取り付けられるタイプも用意され、大、中、小型、ダブルタイヤ、シングルタイヤ用の各サイズを日本国内で常時在庫されている。

トレーラ重量の軽量化に貢献するだけでなく、押出成型で大量生産されるので、輸入コストを差し引いても、価格面でも既存の製品と十分に競合できる自信の商品であった。

しかし、従来品で特に問題がない限り、変化を避ける日本特有の商習慣の壁が立ちふさがり、カタログ掲載されても、販売開始から数年の間、販売数は伸び悩んでいたという。



池田 裕樹

営業部 車両課 課長

川上 太志

取締役 営業統括部長

パブリシティ活動を地道に続けてきたことで、樹脂製フェンダーの認知が広がり、ユーザーからの指定も徐々に増えてきた。まだ市場シェアは低いが、ユーザーの評価は良く、リピート率も高い。ようやく出荷数が伸びてきたのは最近の4~5年だという。



艶消しブラックのカラーに白ラインを入れたイタリアンデザイン

### 樹脂製ツールボックス

伸工貿易(株)では、イタリアのDAKEN社の樹脂製ツールボックスも取り扱っている。国内にもFRP製のツールボックスは販売されているが、金属製の取付棚が必要となるため軽量化には貢献していない。



軽量の本体に強度と防水性を兼ね備えた樹脂製ツールボックス

DAKEN社の製品は、トラック専用設計で材質と構造によって、非常に高い強度を持たせ、専用ステーで取り付けるだけなので、金属棚を必要としない。ツールボックス自体が横からの衝撃に耐える優れた剛性を確保し、防水性能も非常に高く、浸水によって中の工具が錆びることがない。

ツールボックスは本体の大きいため、どうしても輸送コストが高くなってしまいう傾向があったが、フェンダーとの混載や、かさばらずに積めるような設計開発をメーカーと協議することでコストセービングにも取り組んでいる。

### ジャパントラックショー2024へ出展

5月に開催されたジャパントラックショー2024にも出展し、日本国内での拡販に注力している。コロナでの需要低減や、円安による



価格変動も長年貿易に携わってきた経験で、倉庫や在庫を駆使して対応している。10年後には日本国内で樹脂製フェンダーが当たり前になるような未来を目指している。

伸工貿易(株) 代表取締役 野澤 拓

企業活動を通じて法人として社会貢献し、同時に社員とその家族の幸せを実現する会社を目指します。

【本社】〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-9-8 朝日生命宮益坂ビル8F  
Tel: 03-5468-6133 <https://www.shinkoboeki.co.jp/>



ここ数年、急速に普及してきたカーシェアリング。皆様の家の近くでも、カーシェアリングのステーションとクルマを見かけることが多くなっているのではないかと？  
今回はカーシェアリングについて報告する。



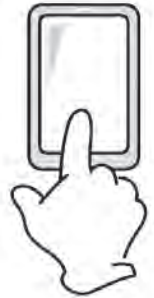
車体工業会近隣のステーション

## Q1 カーシェアリングとは？

- ・カーシェアリングとは、シェアリング登録する会員間で特定の自動車を共同使用するサービス。  
スイスが起源といわれており、日本では2010年頃から利用が拡大し始めた
- ・購入や維持に費用をかけずに車を利用できるため、コストを抑えて車を使いたい、駐車場等の問題で保有が困難、といったユーザーにも注目される
- ・また、カーシェアリングは、自動車業界の今後の方向性を示すキーワードである「CASE」、C：Connected(コネクテッド)、A：Autonomous(自動運転)、S：Share&Service(シェアリング&サービス)、E：Electric(電動化)の一つでもあり、クルマの「所有」から「利用」への流れを表している

## Q2 カーシェアリングの仕組みは？

- ・まずは、車の管理を行うカーシェアリングサービスに会員登録を行う。手続きは、説明付きの対面入会やインターネット入会など様々だが、料金支払いのためのクレジットカードや運転免許証の提示も必要
- ・会員登録完了後、車を使いたい時には、インターネットやスマートフォンアプリから利用予約
- ・予約日時になったら、予約した車のある車両ステーションにて、会員カードやICカードで解錠し利用開始。車のキーの保管場所は利用するサービスによって異なるため、事前にホームページなどで確認必要
- ・利用後は車両ステーションに車を止め、キーを指定場所に返し、解錠に使用したカードで施錠し返却終了
- ・給油は、利用中にガソリンが減った時(ゲージの半分、あるいは3分の1を基準とするケースが多い)、車内の給油カードなど指定された方法で実施。これらは利用料金に含まれているのが一般的



スマホで会員登録

## Q3 料金は？

- 初期費用：** 初期費用が発生するサービスと、初期費用が無料のサービスがあり、前者の場合、初期費用相場は数千円程度
- 月額料金：** 月額料金制のサービスと、月額料金が発生しないサービスの2タイプあり。月額料金制では、利用の有無にかかわらず、毎月料金が発生。月額は数百円～数千円程度だが、時間料金や距離料金の割引サービスがあるケースも
- 時間料金：** 利用時間に応じた加算料金。時間料金は、一定時間経過ごとに加算されるものと、6時間パック等まとまった時間で料金が設定されているものあり
- 距離料金：** 走行距離に応じた加算料金。距離料金は、利用時間にかかわらず一定距離ごとに料金が加算されるものと、一定時間までは距離料金が加算されないものあり。前者は、走行1kmあたり数十円程度
- ・利用頻度や時間・距離に合ったサービスの選択で、費用を抑えられる可能性あり
- ①頻度少なく、時間・距離も短い：月額料金無料で、時間と距離に応じた料金が発生するタイプ
  - ②頻度少ないが、時間・距離は長い：月額料金無料で、6時間などの時間パックがあるタイプ
  - ③頻度多いが、時間・距離は短い：月額料金タイプ(月額割引など有効活用)



## Q4 レンタカーと比較したメリット・デメリットは？

- ・ レンタカーは、一般的に会員登録が必要なく、乗り捨てサービスも用意され、長期間・長時間車を利用する場合、出張や旅行など出先で車が必要な場合に向く。ガソリン満タン返却が求められ、短時間利用ではコスト高になりがち
- ・ レンタカーと比較してのカーシェアリングのメリットは、
  - 1) いつでも気軽に利用できる
  - 2) 車の維持費がかからない
  - 3) 短時間でも利用できる
  - 4) 直前でもキャンセルできる
  - 5) レンタカーと比較して料金が安い傾向にある

カーシェアリング  
使用シーン例



- ・ カーシェアリングのデメリットは、主にクルマを複数会員でシェアする故に発生
  - 1) 車が貸し出し中の時には利用できない
  - 2) 返却の都度では清掃されない
  - 3) 乗り捨てできない
  - 4) 身近に車両ステーションがないと利用しづらい
  - 5) 利用時間が長くなるとレンタカーより割高になることがある

## Q5 ステーション数・台数は？

- ・ 2023年末時点で、全国のステーション数23,103か所、台数は48,055台  
2011年時点の4,124か所、5,541台に対し、ステーション数は5.6倍、台数は8.7倍の増加
- ・ 地域別には、首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)が過半数を占めるが、大都市圏以外の地域も徐々に増加 ※「カーシェアリング比較360°」のHPより



## Q6 利用上の留意点は？

- ・ カーシェアリングは、必要なときに必要なだけ車を利用できる便利なサービス。近場にステーションがあれば個人利用に加え、短時間や近距離でのお客様訪問での活用等により、業務効率向上や車両維持コスト、固定資産の圧縮にも繋がる
- ・ 「シェアリング・共有」であるが故の特徴を踏まえ、始業点検を着実に、安全第一で有効に活用したい

# 働くクルマたち

## 第45回：EV吸引作業車

社会に欠かすことができない車体工業会会員が製造している多種多様な「働くクルマたち」について、毎回車種を選定し、その特徴等、日頃は目にしないところを含めて紹介していく。

第45回目は特装部会員の兼松エンジニアリング(株)が製造したEV吸引作業車を紹介する。

### 1. 吸引作業車とは

吸引作業車とは、下水道・側溝や建設現場などの汚水や汚泥などの吸引・運搬・排出を行う車両である。大きく分けて、

#### ①汚泥吸引車：

負圧(真空圧)で吸引する真空ポンプ車

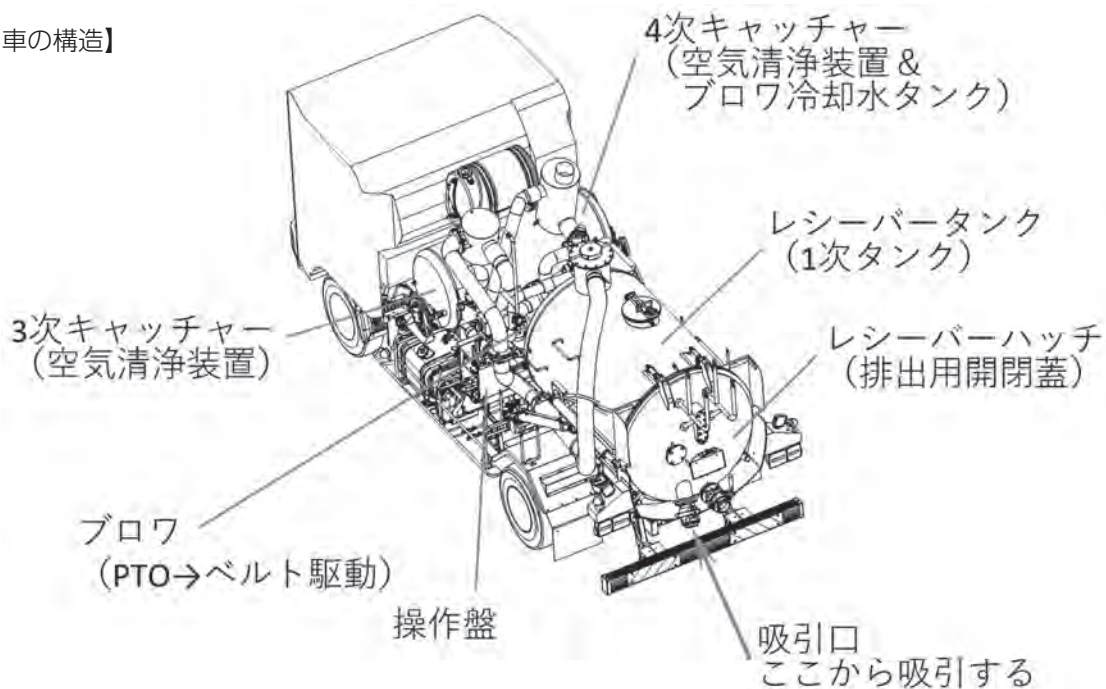
#### ②強力吸引車：

空気輸送で吸引するブロウポンプ車

に分類される。

強力吸引車は、風量10~140m<sup>3</sup>/min、車格も小型車~大型車と幅広いラインナップが設定されている。

#### 【強力吸引車の構造】



### 2. 強力吸引車の歴史(動力関連)

1975年(昭和50年)に作業用エンジンを動力源としてブロウポンプ搭載車を開発した。安価なトランスミッションサイドPTOの登場により、動力源の主流が置き換わった。その後のPTO容量アップに伴い、高風量ブロウポンプに対応できるようになり、吸引できる距離や深さが大幅に向上した。その結果、強力吸引車の活躍の場が広がり、建設現場やプラントなどで汚泥、粉じん吸引など幅広い分野で使用されるようになった。現在の最大風量は140m<sup>3</sup>/min(所要動力:約180kW)!

### 3. EV吸引作業車誕生

SDGs、CN達成に向けた取組みとして、EVトラック(現時点での国内販売は小型車)がトラックメーカーから発売されている。兼松エンジニアリング(株)では、EV活用など環境負荷低減を意識した技術的挑戦の中で、国内初となるEVトラックへブロウポンプを搭載した強力吸引車の製作を行った。

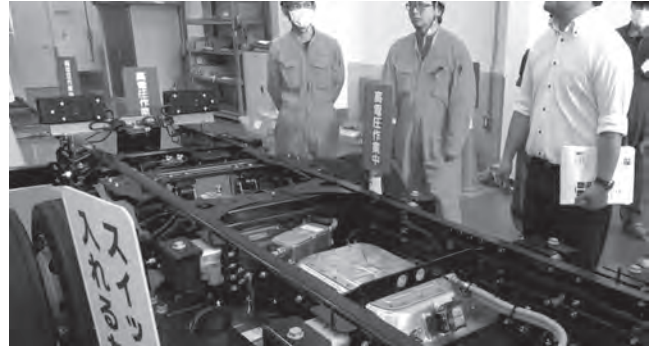
シャシは、ePTOを搭載した三菱ふそうeキャンターを選択したが、ePTOの許容軸トルクは161N・m(常時)しかなく、搭載できたのはePTOの容量に合わせて、風量の小さい10m<sup>3</sup>/minクラスのプロウポンプが限界だった。

## 4. EVトラック…いつもと違う架装の準備

ディーゼルトラックへの架装は手慣れているが、EVトラックへの架装は初めてのことで、全く要領を得ることができなかった。兼松エンジニアリング(株)では、三菱ふそうトラック・バス(株)に協力を仰ぎ、架装に関する質問に丁寧に回答いただき、また、高電圧講習会も行っていたことで、EV架装時の安全注意について理解を深めることができた。



架装作業に必要なコーション購入



高電圧講習会の様子

## 5. 設計時のポイント

- ・ 動力の取出し変更に伴い、自由な架装レイアウトが可能となったのでコンパクトな機器の配置になるように設計した。
- ・ タンクと機械部が一体になるよう、見た目をすっきりとさせたスタイリッシュな外形デザインとした。外装に関してもEV車への架装を表現したデザインにした。
- ・ 上物操作に関しては、液晶タッチパネルを採用し、多彩な上物情報も表示可能とした。(タンク上下、ハッチ開閉、吸引状態、圧力変化、異常信号履歴、メンテナンス情報など)

## 6. EVトラックへの架装を終えて

現状、販売されているEVトラックは車両価格が高く、重量が重い。強力吸引車への架装としては、架装用動力源の選択肢が限られている上、充電設備がないと電力補給ができないことにより、航続可能距離と作業可能時間の両立の実現が難しい。

当初はEVトラックのバッテリーから直接電力を取り出し、高風量ブロウポンプを駆動することを目論んでいたが、トラックメーカーから直接電源取出しは不可とあり、あえなくePTOを選択するしかなく、その容量に合わせて低風量ブロウポンプ搭載とならざるを得なかった。今後、トラックメーカーとも継続して協議を行い、EVトラック等への架装進化、高風量ブロウポンプ搭載に向けたチャレンジを行っていきたい。

## EV吸引作業車 (ETM-03BVP)



「タッチパネル」  
・ 車輦の状態をリアルタイムで確認可能  
・ シンプルな操作で各種設定が可能

「ボタン操作」  
ワンタッチでダンプアップやハッチの開閉、吸引作業の開始/終了が可能



### 日本初のEV吸引作業車

- ① 温室効果ガス排出ゼロのEV車両に架装
- ② 心臓部にはシャシ側ePTOを動力源とするルーツブロウを搭載  
環境への配慮と吸引力を両立
- ③ 各種情報はタッチパネルに集約表示

※画像はデザイン図です。実際の車両とは異なります。



# Member's Essay COFFEE BREAK

## Ride trains and Solve the mystery

須河車体(株) 営業部 営業グループ きぬがさ かずゆき 衣笠 敦幸

私は小さい頃から列車が大好きです。移動手段として利用するだけでなく、鉄道会社のイベントに参加したり、グッズを購入したり、博物館に見学したりしています。

昨年、会社の先輩から、イベントのパンフレットを貰い、休日家族皆で楽しんでることを紹介します。

各鉄道会社と、謎解き制作会社が企画した、「なぞときさんぽ旅」です。ツアーキットを購入し、電車に乗って、仕掛けられた謎解きに、約6箇所位行きます。その街の魅力に触れ、ご当地の名物をいただき、未知の世界を再発見でき、最後の答えを見つけ、エンディングに向かう、リアル謎解きゲームです。訪れる先では適度な距離を歩くので、普段の運動不足解消や健康維持にも繋がります。

最初は興味本位で始めましたが、今では家族全員で楽しむようになり、関西地区の鉄道会社は、クリアできました。また第2段、第3段と次々に開催されることを妻から教えられ、「次はいつこの謎解きに行く?」と、息子から声をかけてくるようになりました。

普段の仕事で、運動不足やストレスが貯まりやすく、体を動かし、汗をかくことが少ないですが、適度な散歩もでき、謎を解くのに凝り固まった頭を柔軟にすることで、家族みんなで謎を解くことに協力する、絆のようなことも芽生えました。謎を解けたときの喜びと、家族で大事な時間を過ごすことの大切さを、改めて感じ、継続していこうと思います。



余談ですが、仕事の関係で、散歩先では、地元の自動販売機オペレーター様の自動販売機で、飲料水を購入し、貢献しています。



## 子どもと楽しめる趣味

(はたらくくるま)

菱重コールドチェーン(株) 販売促進部 むらやま あつお 村山 敦郎

「はたらくくるま」と言うと、皆さんはどんな車を想像しますか?「ショベルカー、ブルドーザー、ダンプカー、クレーン車、ミキサー車、カーキャリア、レッカー車、パトカー、救急車、消防車」いくつ当てはまりましたか? 大人になった今は興味があっても「子どもの頃は好きだった」という方もいるのではないのでしょうか。輸送用冷凍機を取り扱う私にとっては、仕事の一部であり、子どもと楽しめる趣味です。

我が家は男の子が3人(4歳、2歳、1歳)。今まさに「のりものブーム」が来ています! 100均から始まり、プラレールやトミカ等、最初は子ども



はたらくくるまコレクション

の為に買っていた玩具がいつの間にか、自分の為に買っているときもあります(笑) 知る人ぞ知るトイコーはギミックが凝っていてお気に入り。他には、プラレール博やトミカ博などのイベント、消防署や自動車メーカーの博物館、ドライブ中に「はたらくくるま探し」など、楽しみ方は色々あります。

少しだけ悲しいことは、我が? 「冷凍・冷蔵車(温度管理車)」が玩具として少ないこと。分かっています。見た感じ動きも無いし、全般的に白っぽい、なんだか地味。子ども達

の興味関心は向きにくい。遂に見つけた！と思ったら他社製、もしくは当社製だけ「あれ？形が違う？」というのもあったりして(笑)



そんな中でも今回は当社冷凍機が付いている貴重なトミカ2種を写真にてご紹介させていただきます。いずれも特殊仕様ですが、取扱い製品が玩具になって、子どもの手が届くのは感慨深いことです。遊ぶ用と、保存用の2個買いました！



お気に入りのトミカ

子どもと楽しめる趣味、メリットはズバリ「子どもと遊ぶ時間が、自分の時間になる」だと思います。結婚して子どもが産まれると「自分の時間がない」と感じることもありますが、親子で共通の趣味を持って楽しめば「家族サービス」なんて言葉はもう出なくなります。これからは子どもの成長に合わせて、様々な共通の趣味を見つけては、楽しみたいと思います。

## 「何もしない時間」を求めて...

としかい ゆきひと  
富士車輛(株) 車輛製造部 鳥飼 幸仁

子どもが小さい頃は年に数回、地元滋賀県の琵琶湖畔の時もあれば、少し足を伸ばしてキャンプ場でファミリーキャンプを楽しんでいた。ところが、長男が野球を始め、それをキッカケに長女も野球、次女はソフトテニスと、子供たち中心の生活になり、全国各地に送迎と応援に明け暮れ約16年...自身の楽しみであったキャンプからは遠ざかった。

子どもたちの応援も一段落、ようやく自分の時間が持てるようになり改めて自分の趣味を再探索。もともと体を動かすことは続けていたので一層の体力づくりに向けてランニングシューズを求めてスポーツショップに足を運んだとこ

ろ、ふとキャンプギアが目にとまり、ん？今どきのキャンプ道具はここまで進化しているのか？デザインはもとより機能性や快適さ等々...以前、楽しんでいたキャンプに再びトキメキを感じ、幸か不幸か体力づくりの予定からキャンプの世界へ再び飛び込むこととなった。



いざ、キャンプを始めて様々なキャンプ場へ向かうようになると、子どもたちの応援で走り回っていた道にも綺麗な景色、朝昼晩、四季折々にそれぞれ感じることができる様々な表情に気づくようになり、改めて心を洗われるような新鮮な気分を得ることに快感を覚え、いろんなパターンのキャンプにチャレンジするようになった。当然ながらギア収集にも魅力を感じるようになり、春夏秋冬、シーンに合わせてのギア選びを楽しんでいる。

キャンプをイメージ→それに合わせギアを収集→キャンプに臨む。が、なかなか思い描くキャンプに辿りつかず「次はこうしよう」の反省ばかりで、実は「探求と散財の日々」になっている。

最近流行りのソロキャンプにもチャレンジするが、仲間たちとワイワイするのが楽しいし、つつい世話をしている自分がある。週末が待ち遠しく次のイメージが出来上がるが、雨天にみまわれると絶望的で悲壮感に浸り、また次のイメージを...「何もしない時間を求めて」は、まだまだ先になりそうだ。





# いどばた会議

## 私のSDGs Part9

### 廃棄部品を再利用したDIY！

小平産業(株) うえき しゅんすけ  
植木 俊輔

友人から、廃棄するブレーキローターを貰いました。  
私は車好きなので、車の部品を使った家具が欲しいと思い、掛け時計と組み合わせてみました。  
予想以上に見栄えも良く出来上がり、とても気に入っています!!



### 買い物ポイントで 手軽に災害支援募金

ジーエムいちはら工業(株) かみやま ともとし  
神山 朋俊

近年、自然災害や戦争など、各地で多くの人困っています。  
私にも何か貢献できないかと検索したところ、買い物ポイントで支援可能なことを知り、応募しました。ポイントなら負担を感じず手軽なので、今後も続けたいと思っています。



### 自分の身を守るために！

東海特装車(株) ひょうどう かんた  
兵藤 幹太

災害が起きた時、どこに避難するか知っていますか？  
私は学生時代に東日本大震災のボランティアに参加しました。その経験から自分の身を守るようハザードマップを確認し近くの避難所や安全な場所を把握しています。自分や周りの人のために、もしものための備えを日頃からしていきます。



## 職場体験学習を行いました

(株)矢野特殊自動車 <sup>もりやま ゆうた</sup> 守山 勇太

特別支援学校の生徒さんが、職場体験学習として工場実習に来ました。丁寧に仕事を行う姿勢が印象的でした。

ハンディキャップのある方も含め、多様な方が活躍する職場づくりでSDGsを推進します!!



## ベランダで家庭菜園 & リポベジ

イサム塗料(株) <sup>み たむら はるか</sup> 三田村 春佳

ベランダで小さな家庭菜園をしています。水やりや虫害など毎日様子を見るのは大変ですが、実がついたときの感動はひとしおです。最近ではスーパーで買ったネギの根元を植えて、リポーンベジタブルにも取り組んでいます。



## 太陽光エネルギーに日々、感謝!

澤藤電機(株) <sup>ふくやま よしろう</sup> 福山 芳三

CO<sub>2</sub>排出量ゼロで走行できる電気自動車のご飯(電力)を1.5億km離れた太陽からいただいています。

SDGs目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の実現を日々の生活に取り入れています。



## 頼れる相棒

(株)デサン <sup>いいじま ただみち</sup> 飯島 忠道

10年以上の付き合いになるマイボトル。ポロポロで傷だらけだけど私のお気に入り。プラスチックゴミの削減もそうですが、夏は冷たく、冬は暖かい無添加の飲み物を飲めるのが最高。オススメは水出し緑茶です。



## ライトライン(LRT)を使って通勤することで、CO<sub>2</sub>削減に貢献し、エンゲージメントも向上!!

日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株) <sup>すずき こうき</sup> 鈴木 滉樹

2023年8月に開業したライトラインを使う通勤方法に切り替えました!

ゼロカーボン・トランスポートであることから、気軽にCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献できることに加え、読書や学習など自分自身へ投資する時間が増え、エンゲージメントが向上しました!

宇都宮市の清原工業団地、芳賀工業団地へお越しの際はぜひご活用下さい!





(株)河野ボデー製作所  
東部工場 設計課  
みやざき けん た  
宮崎 建太さん



我が社の

元気人

日本トレクス(株)  
開発部開発二課  
みねやま そら  
峯山 空さん



車が完成したときの喜びはひとしおです

自分の設計したモノが形になると楽しくなります

## Q1 どんなお仕事ですか？

車両のボデー部分を架装するための設計から施工管理、車両回送まで製造全体に関わる仕事をしています。

機装図を描くところから始まり、骨格から部品まで車両製作に関係する全体的な図面を描き上げます。

図面を描く仕事に合わせて、製造の工程管理及び車両の回送も行います。

## Q2 仕事で楽しいときは

自分の設計した車がだんだんと組み上がっていき、最終的に図面上で2次元だったものが完成して3次元となったときが一番楽しく、うれしい瞬間です。1台の車が完成するまでに様々な問題や苦労も起こってしまうこともありますが、それを乗り越えて、車が完成したときの喜びはひとしおです。

## Q3 仕事でつらいこと

設計で作図を進めていくときに、うまく考えがまとまらない状況に陥ってしまい、その状況から抜け出せないときです。また、設計していた図面が実際に製作してみるとうまく組み上がらなかつたりして、修正のために現場の方々の手をわずらわせてしまうときです。

## Q4 これまでの仕事の中で印象に残っている出来事は？

設計の仕事をはじめから初めて、最初から最後まで設計をした車が完成したときです。

入社当初は部品の設計から始めたのですが、作図をする部品の種類が増えていき、最終的に車1台の設計をした際には多くの問題や苦労、大変なことも多くありましたが、その都度解決して、最終的に完成した車を見たときにとても感動したことを覚えています。

## Q5 御社のPRをしてください！

弊社は、特殊車両のボデーの設計から製作まで一貫して行う会社です。鉄板1枚から社内の設備でボデーの製造を完遂することができます。また、以前、自動車メーカーからの製造を受けていたこともあり、カチオン電着塗装のできる設備が社内にあるのが強みです。

## Q1 どんなお仕事ですか？

トラックボデー・トレーラの開発、改良を行っています。より良い車両をお客様に提供できるよう部品単位で検討をしています。

最近では冷凍車に使用するドアの改良や、スワップボデーの改良をメインに仕事をしています。

## Q2 仕事で楽しいときは

自分の設計したモノが形になるときです。

2023年に開催されたジャパンモビリティショー出展車両(スワップ冷凍バンボデー)に携わりました。車両が完成したときや、アテンダーとしてブースに立ったときはとても誇らしかったです。

## Q3 仕事でつらいこと

自分で検討、設計した部品や車両が思い通りの形にならなかったことです。

今までは「一からやり直しか...」と凹んでいましたが、最近では製品になる前にミスがわかって良かったと思うようにしています。ミスの経験から自分のスキルアップに繋がりたいと思います。

## Q4 これまでの仕事の中で印象に残っている出来事は？

車両調査でお客様のところへ訪問した際に、お褒めの言葉をいただいたことです。社内にいるとなかなか聞けないのでとても嬉しかったです。

また、能登半島地震の被災地へ物資を届ける為に、弊社のトラックボデーが使用されているのを見て、世の中の為に一翼を担えていると感じ心が熱くなりました。

## Q5 御社のPRをしてください！

日本トレクス(株)はトレーラ、トラックボデーなどの様々な機種を設計、製造、販売しているメーカーです。近年では物流の2024年問題解決型製品として、ダブル連結トラックやスワップボデーにも力を入れています。時代とともに変化し続け、社会貢献していきます。

**2023年度 主要車種の生産状況**

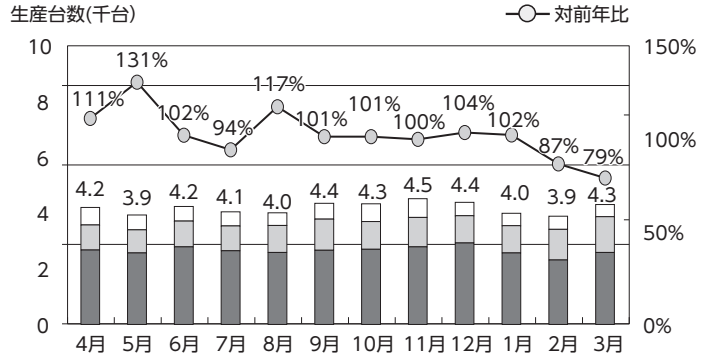
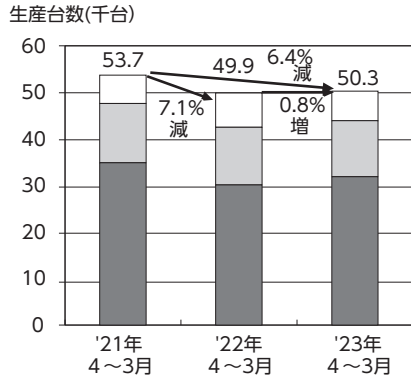
		台 数	前年度比(%)	
全 体	国 内	1,030,739	107.3	
	輸 出	1,114,645	112.1	
	合 計	2,145,384	109.8	
非量産車 ※印の車両	国 内	142,495	110.2	
	輸 出	6,626	86.7	
	合 計	149,121	108.9	
特装車 ※	国 内	輸送系車両	31,862	105.8
		作業系・その他車両	12,036	97.0
	国 内	43,898	103.3	
	輸 出	6,365	86.3	
	合 計	50,263	100.8	
特種車 ※	国 内	量産系	5,396	89.9
		非量産系	4,129	108.6
	国 内	9,525	97.1	
	輸 出	261	98.1	
	合 計	9,786	97.2	
平ボデー トラック	国 内	標準型(シャシメーカー標準車)	7,964	93.2
		※ 大 型	4,646	114.8
		※ 中 型	3,585	109.4
		※ 小型・軽	5,349	94.2
		※ 小 計	13,580	104.4
	合 計	21,544	100.0	
バン ※	国 内	大 型	21,755	157.4
		中 型	18,458	113.3
		小 型・軽	25,068	106.0
		合 計	65,281	121.4
トレーラ ※	コンテナ	2,271	84.8	
	バ ン	2,199	81.6	
	平床	1,468	88.3	
	その他特装系	1,347	99.9	
	合 計	7,285	86.9	
バス	国 内	※ 大・中	2,926	157.0
		そ の 他	6,249	133.2
	国 内	9,175	140.0	
	輸 出	63,318	103.7	
	合 計	72,493	107.2	
乗用 小型商用 軽	国 内	874,031	106.9	
	輸 出	1,044,701	112.9	
	合 計	1,918,732	110.1	

注)・トラック運転台及びテールゲート等の装置生産台数は含んでいません。



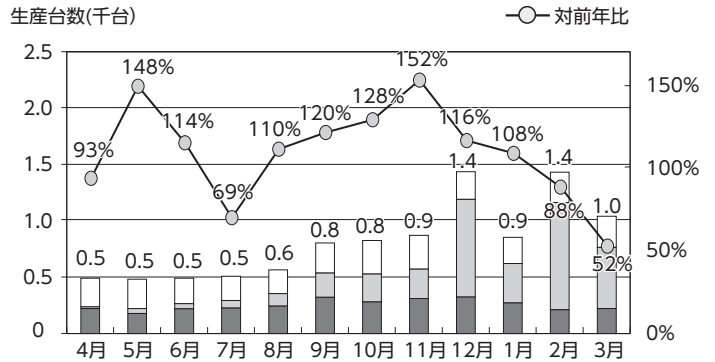
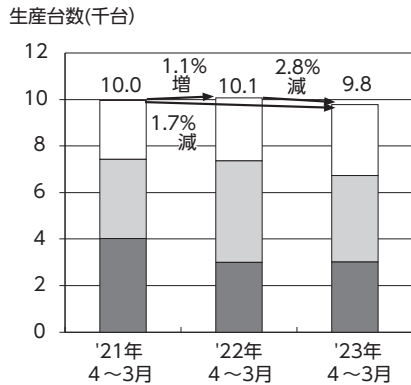
### 特装車

- 輸出
- 作業系・その他
- 輸送系



### 特種車

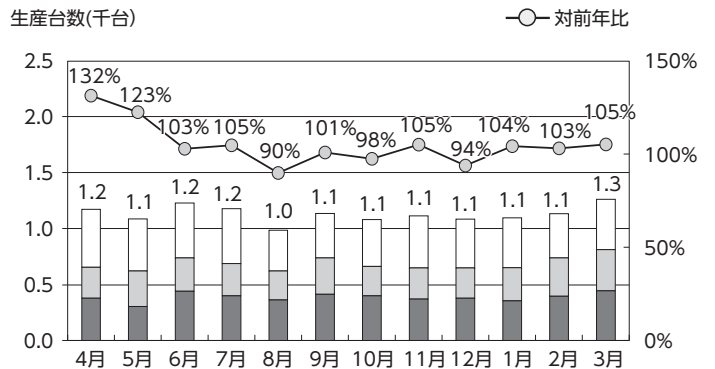
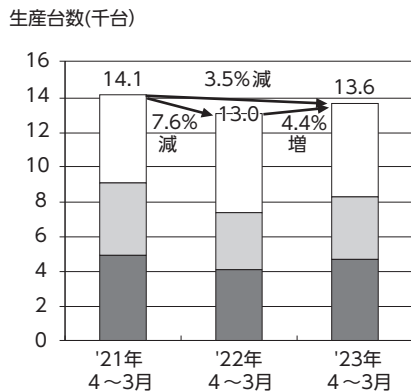
- その他
- 緊急用
- 車いす移動車



### 平ボデートラック (除 シャシメーカー標準トラック)

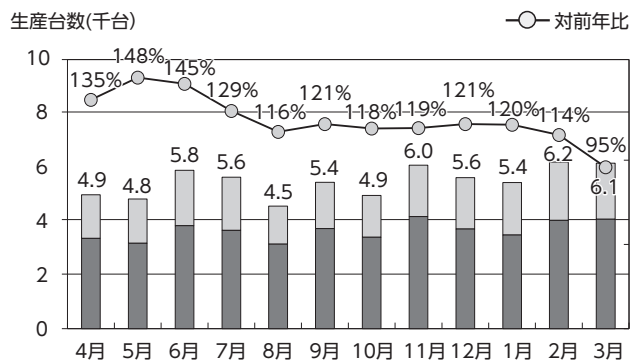
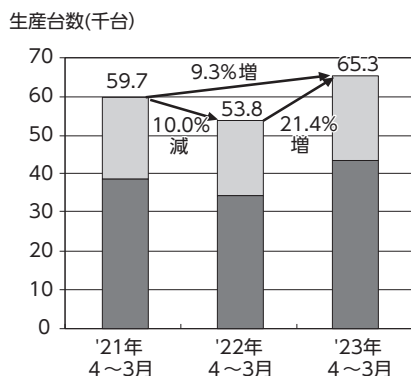
平ボデートラック  
(除 シャシメーカー  
標準トラック)

- 小型・軽
- 中型
- 大型



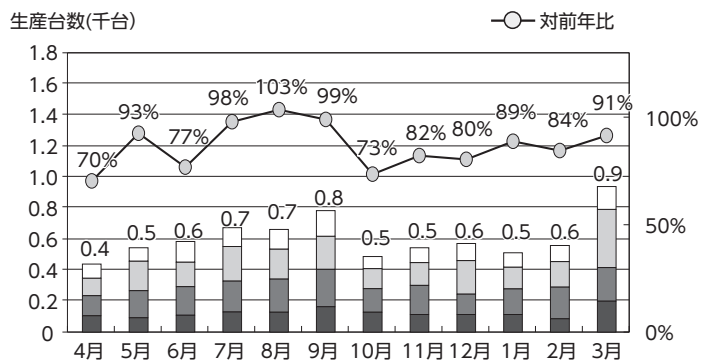
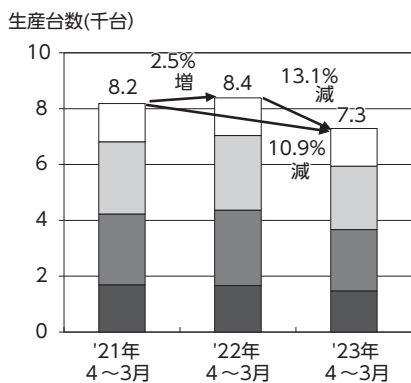
### バン

- 冷凍・保冷車
- バン (除 冷凍・保冷車)



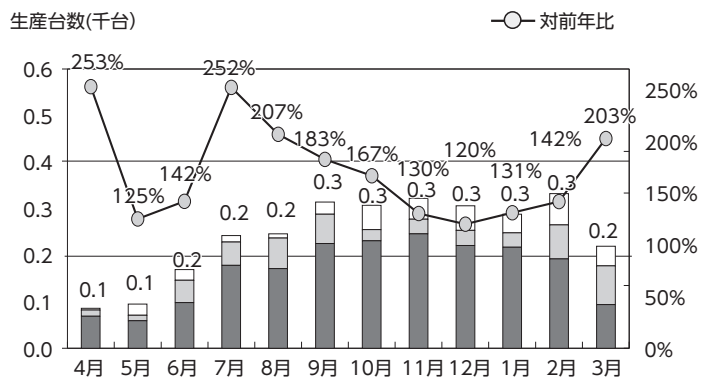
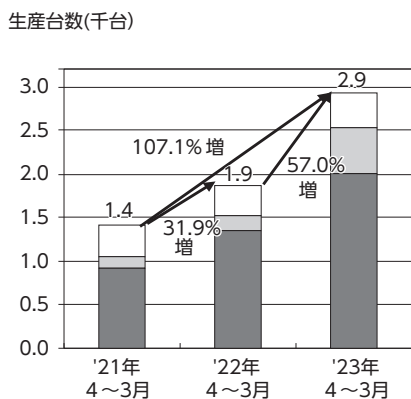
## トレーラ

- その他特装系
- コンテナ
- パン
- 平床



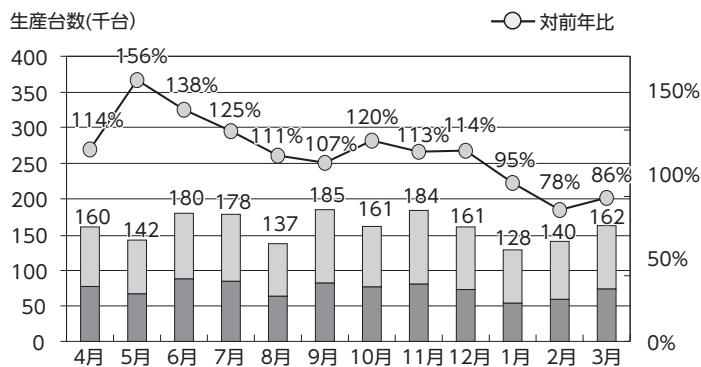
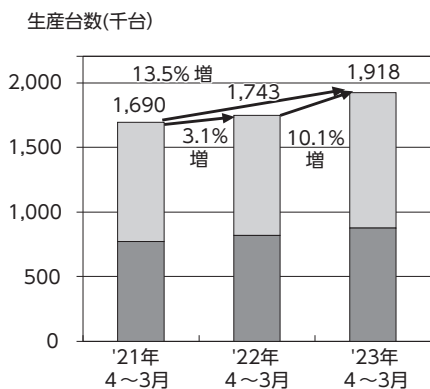
## 大中型バス

- 自家用
- 観光
- 路線



## 乗用・小型商用・軽

- 輸出
- 国内



### 車体工業会会員生産台数の公表について

昨今の急激な景気変動に伴う業界全体の状況をいち早く社会全体へ公表するために、生産台数データを当会ホームページに公開しておりますので、下記サイトをご覧ください。

<https://www.jabia.or.jp/data/index.php>





## 編集後記

5月24日には、当会通常総会が無事開催された。今回の総会は、巻頭言の増井会長挨拶にもある通り、「見て 聞いて 分かり易い 説明」と、「会員様同士がより交流いただけるための時間配分見直し」に取り組んだ。当日の事務局プレゼンは従来の半分以上の時間に削減したが、資料を今号の9・10ページにも掲載している。是非皆様にもご確認いただければ幸甚です。

また、昨年までは2つの冊子を総会出席者の机の上に配布していたが、ペーパーレス化を断行。プレゼンや実績と計画の詳細資料をPDF化し、事前に車体工業会HPへ掲載、その案内を各会員代表の方々に送付し、会場では当日限定のQRコードにより、携帯端末でもご確認いただける形に変更した。資料内容は事務局メンバーで何度も議論し、本部委員会・部会・支部活動等の情報整理・集約、枠や表活用等の細かな改良を行った。まだ合格点には届いていないかもしれないが、一定の改善は行えたと思っている。

さて、「働くクルマたち」ではEV吸引作業車が特集された。また、5月下旬に東京ビッグサイトで行われた環境展へも当会会員によるEV架装車の展示がされている。当会の会全体でのカーボンニュートラル(CN)の取組みは、まだまだ十分ではないと認識する一方で、シャシメーカーと協力し、大変ご苦労されながら、具体的なCN対応商品の開発に漕ぎつけていただいている。

また、高速バス[WILLER EXPRESS]で有名なWILLER(株)村瀬社長の講演には、感銘を受けた。コンサート会場直前の「押し活」バス、女性の隣は必ず女性にする予約システム、人口減少激しい佐渡市での自動運転、法令整備に時間がかかる日本ではなく海外でのオンデマンド交通等、眼から鱗の取組みを様々教えていただいたが、マーケティングだけでなく日本の直面する課題に向き合う企業姿勢に、頭の下がる想いである。

編集後記として、今回は総会の変更点を述べさせていただいたが、当会はあくまで車体架装を業とする会員の皆様の事業に、少しでも貢献できる部分を探していく活動と認識している。継続した改善に向け、皆様からも多くのご意見をいただければと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

(板倉)

表紙写真について

### バン部会 北海道車体(株)製 「ウイングボデー」

油圧機構のルーフアップ、2段フロアー(前後分割式)、垂直式リヤゲート(プレート長5,000mm)を取り付けたウイングボデーです。

レーシングカーや高級スポーツカーを上下2台ずつ、合計4台を積載可能にしました。

雨の日や雪の日も積載車両を汚さず運搬できますし、積載したままウイングを開ければ、そのまま展示用にも利用可能です。



### 新広報委員



小平 浩史氏  
トヨタ自動車東日本(株) 広報部  
広報グループ(小型部会)

業界内外に的確な情報をお伝えしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

この会報「車体NEWS」は、主として法令改正等含めた自動車車体にかかわる情報をとりまとめ、春、夏、秋、冬の4回、季刊発行により関係方面の方々に毎回およそ1,700部を送付させていただいております。送付先は当工業会会員事業所他全国の大型車等の自動車販社、各都道府県のバス、トラック協会、バス、トラックの大手ユーザー、全国の経済産業局、運輸局、運輸支局、自動車技術総合機構、日本自動車車体整備協同組合連合会、軽自動車検査協会及び自動車関係団体となっております。

### 広告掲載会社

NX商事株式会社 …………… 表2  
イサム塗料株式会社 …………… 表3対向  
スリーエム ジャパン株式会社 …………… 表3  
損害保険ジャパン株式会社 …………… 表4

# 車体 NEWS

SUMMER 2024 夏



2024年6月15日発行

発行所 一般社団法人 日本自動車車体工業会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

TEL.03-3578-1681 FAX.03-3578-1684

発行人 板倉 範頭



# 架装物の安全点検制度

架装物の定期点検で『SDGs』に貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境にやさしい未来をつくる働く車  
 未来の子ども達に美しい地球を  
 のこすため「豊かな環境保全」には  
 定期点検整備が必要です。

定期点検整備を実施した事を証明する  
 『架装物年次点検【済】』ステッカーです。

点検に行こう

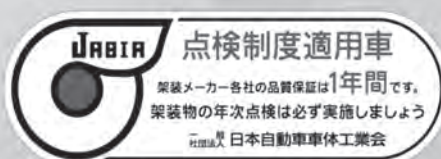


点検OK



## 安全・安心・信頼の証 ステッカー!!

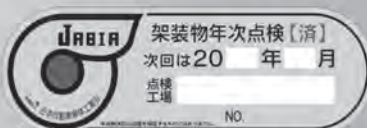
※ 新車時 『点検制度適用車』ステッカー



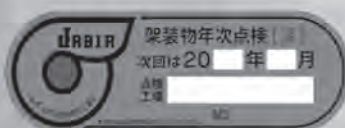
品質保証付き

点検制度適用車

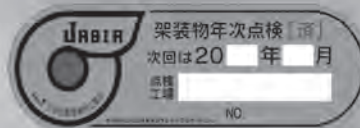
※ 点検時 『架装物年次点検【済】』ステッカー



2023年 (黄色)



2024年 (水色)



2025年 (黄緑色)



一般  
 社団法人

日本自動車車体工業会 中央技術委員会 点検整備推進分科会  
 Japan Auto-Body Industries Association Inc.

<https://www.jabia.or.jp/>





塗装で車両の価値UP!!  
意匠性の付与・メンテナンスに!!

意匠性と耐久性を付与!

BEOLINER ベッドライナー ビースト

**BEAST**



ポデーやバンパーに!



意匠性や耐久性を付与!

意匠性と耐久性

オリジナリティあふれる塗装

お好みの色相に調色可能



動画は  
こちら

下回りを錆から護る!

ハイアートCBエコ

**防錆コート**



※JIS K5600.71 塩水噴霧試験(1000時間)

高い防錆力

耐チップング性

防振・防音効果



足回りが錆でこうなる前に



しっかりガード!!



動画は  
こちら

荷台木部(アピトン等)を護る!

**ウッドプロテクト**

木部の劣化を防ぐ!!

圧倒的低コスト!!

施工は簡単!!



Before



After



動画は  
こちら



**イサム塗料株式会社**

札幌・仙台・東京・名古屋・滋賀・大阪・広島・福岡

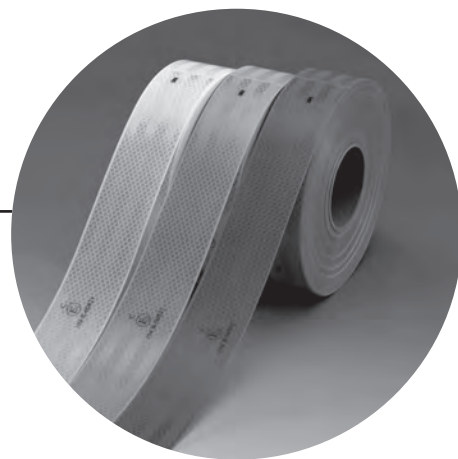


イサム塗料株式会社  
公式チャンネルはこちら



# 美しさと安全性の両立

## Beauty & Safety スリーエムからの提案です。



3M™ダイヤモンドグレード™  
コンスピキュイティ反射シート

3M™プリントラップフィルム IJ280

夜間や薄暮に多発するトラックなど大型車両の事故。車両の視認性低下が原因のひとつとなっています。夜間の事故防止には再帰反射材による車両マーキング(線状再帰反射材、輪郭再帰反射材等)が不可欠です。その効果は様々な研究報告により明らかになっています。

わが国では「道路運送車両の保安基準」でその取付要件が規定されました。すでに欧米では多くの国々で取付要件が規定されており、義務化された国もあります。スリーエムではこの基準に適合した(※Eマーク付)3M™ダイヤモンドグレード™コンスピキュイティ反射シートを提供しています。

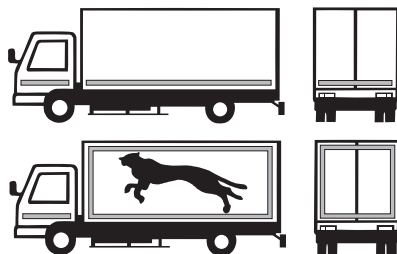
また、スリーエムでは従来より車体のボデーをPR媒体として活用するフリートマーキングシステムの概念を提案し、スコッチカル™フィルム、コントロールタック™ コンプライ™ グラフィックフィルム、プリントラップフィルム等の施工性に優れた製品を提供してきました。トラック輸送の有効性、重要性が今後さらに見直される傾向にあります。今こそ安全性とPR効果がキーワードの車両マーキングとフリートマーキングの採用を検討する時期です。

### 3M™ ダイヤモンドグレード™ コンスピキュイティ反射シート

入射光を光源方向にまっすぐ戻す、再帰反射効果を備えたプリズムレンズ型反射シートです。ヘッドライトの光などで明るく輝き、自車の存在を相手に強くアピールします。

#### ■おもな特徴

1. 従来品に比べ、反射効果が大幅にアップしています。
2. 広角性にすぐれ、カーブ時の見やすさも十分に確保できます。
3. 取り扱いが簡単です。裏面の透明フィルムをはがすだけで、多くの車体に直接貼ることができます。
4. 耐久期間は約7年です。(当社ガイドライン通りに貼付された場合)。



Eマークとは:国際的な車両型式認証の相互承認制度(IWVTA)に基づき、協定規則の要件に適合した製品に付記することができるマーク。このマーク入り製品は「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 第55条の2」に定められている基準に適合している製品です。

### 事故減少に対するコンスピキュイティ反射シートの有効性に関する研究報告

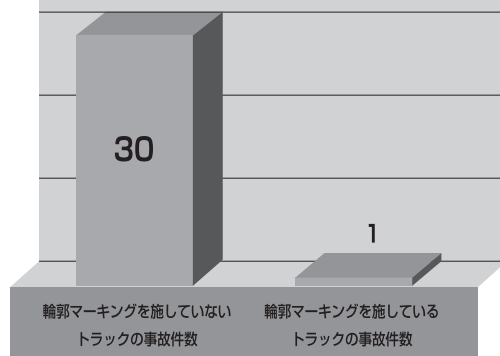
#### ■ヨーロッパにおける研究報告

- 夜間や薄暮におけるトラックの側面・後面への衝突事故の約40%が“みられやすさ”(コンスピキュイティ)不足により発生している。
- 再帰反射材の輪郭マーキングを施したトラックの事故件数は、施していないトラックの事故件数の約1/30だった。

#### ■米国における研究報告

- 再帰反射材による車両マーキングは重量トレーラーの側面・後面への衝突事故を約30%減少させた。特に夜間では約40%減少させた。

#### ■事故件数対比



## スリーエム ジャパン株式会社

コマーシャルブランディング&トランスポート事業部

本社 〒141-8684 東京都品川区北品川6丁目7番29号

電話 03-6409-3388

URL <https://www.mmm.co.jp>

3M



NEW!

新しい特約を  
ご用意しました

生産物賠償責任保険

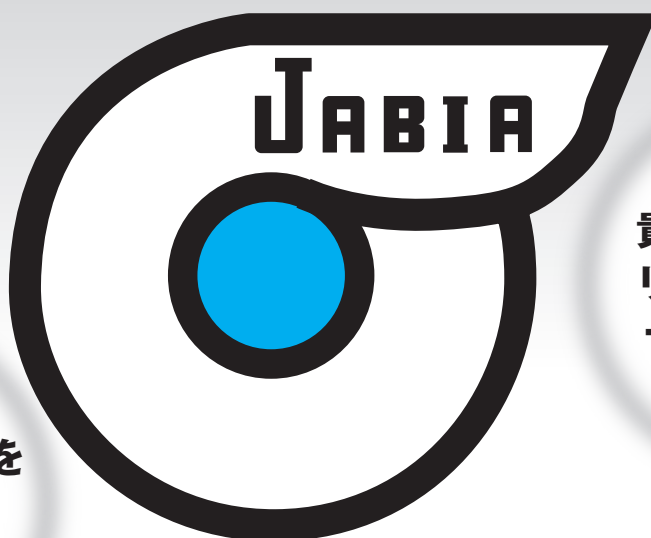
生産物回収費用補償特約

# 日本自動車車体工業会 団体PL保険制度

自動車メーカーだけではなく、車体メーカー、部品メーカーも責任を問われる時代です。

随時加入申込受付中

車体工業会会員の  
皆さまのための  
専用の保険制度



貴社のPL対策・  
リコール対策を  
サポートします

スケールメリットを  
生かした割安な  
保険料

## 制度の趣旨

- (一社)日本自動車車体工業会の会員の皆さまのためのPL保険制度です。
- PL保険制度はPL事故および架装等が原因で生じた賠償事故の損害に対応します。  
車体工業会のスケールメリットを活かした制度で多くの会員の皆さまにご利用いただいております。
- 今年度新設したリコール・オプション(生産物回収費用補償特約)もぜひご検討ください。
- この広告は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

## お気軽にご相談ください

取扱代理店:

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-4-1 内山ビル2F 株式会社ワイズマン 東京支店

TEL. 03-5623-6455 FAX. 03-5623-6488

ご相談用メールアドレス:jabiahoken@wiseman.gr.jp

引受保険会社:

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第一課

TEL. 03-3349-3322 FAX. 03-6388-0155



SOMPO

損害保険ジャパン株式会社